

AV

オーディオ機能に関する操作方法を説明します。

オーディオ機能について	136	ラジオ / 交通情報	152
基本操作	136	ラジオを聴く	152
AUDIOメニューを表示する.....	136	好みの放送局を登録する.....	152
オーディオをON/OFFする.....	137	表示内容について.....	153
オーディオ機能がONのとき.....	137	再生情報画面について.....	153
オーディオ機能がOFFのとき.....	137	受信状態の良い放送局を探す.....	154
AUDIO再生情報について.....	138	シークを開始する.....	154
音声案内時のオーディオ音量について.....	138	エリア選局から探す.....	154
再生できるディスクの種類について	139	StationListから探す.....	154
再生できないディスク.....	140	交通情報を聴く	155
CD規格外ディスクについて.....	140	表示内容について.....	155
DualDiscについて.....	140	DISC	156
DVDビデオに関して.....	141	音楽CDを聴く	156
DVDビデオに		リストを表示する.....	156
表示されているマークの意味.....	141	表示内容について.....	157
音楽ファイルについて	142	再生情報画面について.....	157
再生できる音楽ファイル形式.....	142	リストについて.....	158
フォルダーの構成について.....	143	再生モードを変更する.....	159
MP3とは.....	144	再生モードについて.....	159
再生できる		タイトル情報を取得する.....	159
MP3ファイルの規格について.....	144	取得できる情報について.....	159
WMAとは.....	145	手動で取得する.....	160
再生できる		ディスクの音楽ファイルを聴く	161
WMAファイルの規格について.....	145	リストを表示する.....	161
AACとは.....	146	表示内容について.....	162
再生できる		再生情報画面について.....	162
AACファイルの規格について.....	146	リストについて.....	163
WAVとは.....	147	再生モードを変更する.....	164
再生できる		再生モードについて.....	164
WAVファイルの規格について.....	147	DVDビデオを見る	165
FLACとは.....	148	DVDビデオの操作画面を表示する.....	166
再生できる		表示内容について.....	167
FLACファイルの規格について.....	148	再生中の操作画面.....	167
動画ファイルについて	149	停止中の操作画面.....	169
再生できる動画ファイル形式.....	149	走行中の操作制限について.....	170
フォルダーの構成について.....	150	タイトル番号やチャプター番号を選ぶ.....	170
再生可能な動画ファイルの仕様.....	151	停止画面からの操作.....	171
		音声 / 字幕を切り換える.....	171

画面表示を切り換える.....	172
アングルを切り換える.....	172
メニューを操作する.....	173
タイトルメニューの場合.....	173
メインメニューの場合.....	173
数字入力でメニューを選ぶ.....	174
静止画を送る.....	174
音声多重を切り換える.....	175
タイトルリストを表示する.....	175
視聴制限のあるDVDビデオを再生したとき.....	176

SD/Music Rack 177

SDカードの曲を聴く.....	177
リストを表示する.....	177
表示内容について.....	178
再生情報画面について.....	178
リストについて.....	179
再生モードを変更する.....	180
再生モードについて.....	180
カテゴリから探す.....	181
再生情報の画面を表示する.....	182
SDカードの動画を見る.....	183
リストを表示する.....	183
表示内容について.....	184
ソースプレートについて.....	185
再生モードを変更する.....	186
再生モードについて.....	186
Music Rackに録音する.....	187
Music Rackへの録音について.....	187
録音を開始/停止する.....	188
Music Rackを聴く.....	189
SD-Audioについて.....	189
表示内容について.....	190
再生情報画面について.....	190
プレイリスト選択画面.....	191
トラックリストについて.....	192
プレイリスト選択画面を表示する.....	193
プレイリストを編集する.....	193
プレイリストの	
タイトルを変更する.....	193
プレイリストを消去する.....	194
プレイリストの	
再生順序を変更する.....	195

トラックリストを表示する.....	195
全曲再生の	
トラックリストを表示する.....	195
プレイリスト内の	
トラックリストを表示する.....	196
トラックを編集する.....	196
トラックの情報を編集する.....	196
トラックを消去する.....	197
トラックの再生順序を変更する.....	197
再生モードを変更する.....	198
再生モードについて.....	198
カテゴリから探す.....	199
再生情報の画面を表示する.....	200
タイトル情報を取得する.....	200
本機から取得する.....	200
通信で取得する.....	201
タイトル候補の選択画面について.....	201
NoTitleリストを管理する.....	201
本機からタイトル情報を取得する.....	202
通信でタイトル情報を取得する.....	202
パソコンから	
タイトル情報を取得する.....	203
NoTitleリストから消去する.....	204
Music Rack内の曲をすべて消す.....	205

iPod/USBメモリ 206

接続する.....	206
iPodについて.....	207
USBデバイスについて.....	207
iPodを再生する.....	208
表示内容について.....	209
再生情報画面について.....	209
再生モードを変更する.....	210
再生モードについて.....	210
リストで探す.....	211
再生情報の画面を表示する.....	211
USBデバイスの曲を聴く.....	212
リストを表示する.....	212
表示内容について.....	213
再生情報画面について.....	213
リストについて.....	214
再生モードを変更する.....	215
再生モードについて.....	215

カテゴリーから探す	216
再生情報の画面を表示する	217
USB デバイスの動画を見る	218
リストを表示する	218
表示内容について	219

TV **220**

テレビ機能について	220
受信について	220
テレビを見る	221
はじめてテレビを見るとき	221
放送局を選ぶ	222
表示内容について	223
操作パネルについて	223
ロングバーナーについて	224
走行中の操作制限について	225
CHモードを切り換える	225
番組の内容を見る	226
記号について	226
緊急警報放送について	226
放送局を探す	227
番組表で探す	227
現在放送中の番組から探す	227
番組表を取得するには	227
番組表の内容を確認する	228
チャンネルリストから探す	228
系列局を探す	229
受信状態の良い放送局を探す	229
好みの放送局を登録する	230
ホームCHスキャンを行う	230
初期ホームCHスキャン	230
再ホームCHスキャン	230
ドライブCHスキャンを行う	231
初期ドライブCHスキャン	231
再ドライブCHスキャン	232
情報を確認する	233
メールを確認する	233
デバイスIDを確認する	233
ソフトウェアバージョンを確認する	234
その他の操作	235
リモコン番号を変更する	235
フルセグとワンセグを切り換える	235
自動ワンセグ切り換えについて	236

映像や音声を切り換える	237
-------------------	-----

外部入力機器 **238**

Bluetooth Audioを使う	238
対応プロファイルと	
対応機能について	238
Bluetooth対応	
オーディオ機器を接続する	239
Bluetooth対応	
オーディオ機器の曲を聴く	239
表示内容について	240
再生情報画面について	240
再生モードを変更する	241
再生モードについて	241
リストで探す	242
AUXを使う	243
音声を再生するには	243
HDMIの映像を見る	244
表示するには	244

オーディオ機能について

基本操作

注意

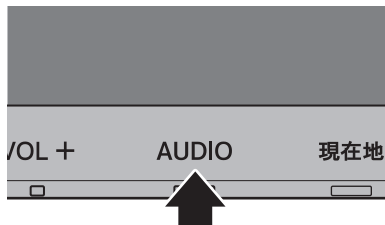
- エンジンが停止している状態でオーディオ機能を使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。
- オーディオをONにした場合、最後に再生していたAUDIOソースの音量はフェードインします。
- 消音を解除した場合、AUDIOソースの音量はフェードインします。

AUDIOメニューを表示する

1 AUDIO キーを押す



AUDIOメニューまたはAUDIO再生画面を表示します。

AUDIO再生画面が表示された場合は、手順2へ進みます。

2 再度、AUDIO キーを押す



AUDIOメニューを表示します。

アドバイス

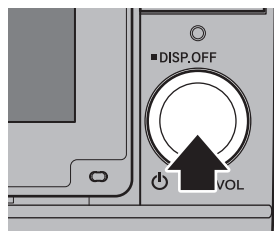
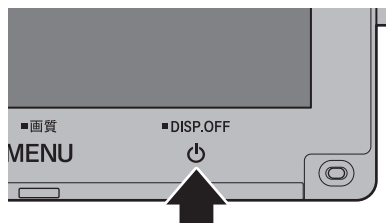
- AUDIO再生画面が表示されているときに、[SOURCE]にタップすると、AUDIOメニューを表示します。

オーディオをON/OFFする

オーディオ機能のON/OFFが行えます。

■ オーディオ機能がONのとき

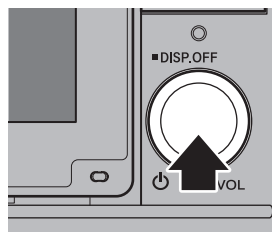
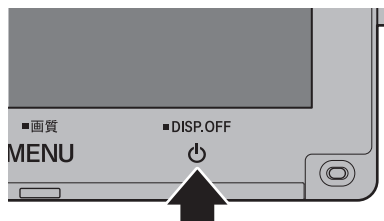
1  キー、または  キーを押す



オーディオ機能がOFFになります。

■ オーディオ機能がOFFのとき

1  キー、または  キーを押す



オーディオ機能がONになります。

AUDIO 再生情報について

オーディオ再生中、ナビ画面のステータスバーにタップするとAUDIO 再生情報を表示します。

以下のように現在再生中のオーディオソースと再生情報を表示します。



以下は一例です。

ラジオ



プリセット番号、放送局名、周波数を表示します。

ディスク (音楽CD)



トラック番号、トラック名、アルバム名(フォルダー名)を表示します。

Music Rack



トラック番号、トラック名、プレイリスト名を表示します。

音声案内時のオーディオ音量について

ナビ機能などの音声案内が行われるときは、オーディオ音量が小さくなります。

(すべてのスピーカーが対象となります。)


この機能によって、音声案内が聞き取りやすくなります。

注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

再生できるディスクの種類について

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	サイズ	最大再生時間	備考
DVDビデオ 	12cm/片面 12cm/両面	133分(1層) / 242分(2層) 266分(1層) / 484分(2層) (MPEG2方式)	<ul style="list-style-type: none"> リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」。 NTSC方式で記録されたもの
DVD+R/RW DVD-R/RW	12cm/片面 12cm/両面	—	<ul style="list-style-type: none"> GPRM/2層ディスクを含む DVD VIDEO/DVD-VRフォーマット規格で記録されたディスク MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク
CD-DA 	12cm/片面	74分	—
CD-TEXT 	12cm/片面	74分	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語以外の言語には対応しておりません。ウムラウト記号「Ä å」など記号のついた文字には対応しておりません。
CD-EXTRA	12cm/片面	—	—
Mixed-Mode CD	12cm/片面	—	<ul style="list-style-type: none"> 先頭データを飛ばして、オーディオトラックから再生します。
CD-R/RW 	12cm/片面	—	<ul style="list-style-type: none"> MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク

■ 再生できないディスク


- 「再生できるディスクの種類」に記載のないディスクの再生は保証いたしかねます。
- 8cmディスクやアダプターを取り付けたディスクは使用できません。
- 異形のディスク（ハート形など）は故障の原因となるため、使用しないでください。また、一部が透明なディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- レコーダーやPC（パソコン）によって正しいフォーマットで記録したディスクでも、アプリケーションソフトの設定や環境もしくはディスクの特性や傷、汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機で再生できない場合があります。
- ディスクによっては、一部機能が使用できない場合や再生できない場合があります。
- ヒビの入ったディスクや反ったディスクは使用しないでください。
- ディスクにシールを貼っている場合、はがれかかっているもの、のりあとが付着しているものは使用できません。
- ディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったものは使用できません。

注意

- DTS-CD (5.1ch Music Disc) は、録音/再生できません。本機に挿入してもノイズのみが再生されますので挿入しないでください。

■ CD 規格外ディスクについて

本機では音楽CDをお楽しみいただけますが、CDの規格について以下の点にご注意ください。

- ディスクレーベル面に  の入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。
- CD規格外ディスクを再生した場合、次の症状が発生することがあります。
 - 再生時に雑音が混入する。
 - 音飛びする。
 - ディスクを認識しない。
 - 1曲目を再生しない。
 - 頭出しの時間が通常より長い。
 - 曲の途中から再生する。
 - 部分的に再生できない箇所がある。
 - 再生の途中でフリーズする。
 - 誤表示する。

■ DualDisc について






本機はDualDiscの再生に対応していません。DualDiscは、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオ、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオが収録されています。

■ DVD ビデオに関して

DVD ビデオによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。

■ DVD ビデオに表示されている マークの意味

DVD ビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声言語の数
	字幕言語の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種別
	再生可能な地域を限定する番号。 本機で再生可能なリージョン番号 (地域番号) は、「2」を含んだもの、または「ALL」です。
NTSC	日本に対応している映像方式です。この方式以外は再生できません。

音楽ファイルについて

再生できる音楽ファイル形式

本機ではディスク*¹ やUSBデバイス、SDカードに記録された以下の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- WAV*²
- FLAC*³

*¹ 「再生できるディスクの種類について」(P139) をご覧ください。

*² ディスクに書き込んだWAV形式の音楽ファイルはサンプリング周波数、ビット数によっては再生時に音飛びが発生することがあります。

*³ ディスクに書き込んだFLAC形式の音楽ファイルは再生できません。

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の音楽ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に以下の内容をよくお読みください。

また、お手持ちのディスクドライブやライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注意

- 音楽CDから書き込んだ(コピーした)ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- 拡張子(「.mp3」など)を異なったファイル形式のファイルに付けしないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカ-の破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

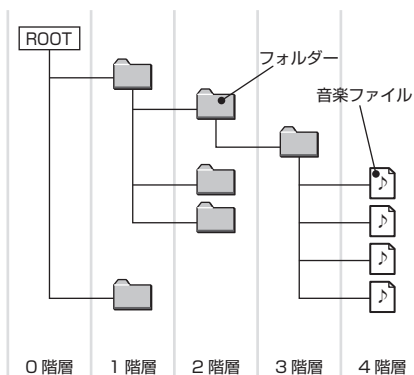
アドバイス

- 音楽ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp3」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生できません。
- 複数の形式の音楽ファイルが混在したメディアも再生できます。

フォルダーの構成について

フォルダーは8階層まで認識できます。

ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック（再生可能な形式の音楽ファイル）といった階層を作成して曲を管理できます。



名称	規格	説明	
フォーマット仕様	ISO9660	レベル 1	最大 8 文字のファイル名と 3 文字の拡張子を持つ。 (半角英大文字と半角数字、“_” が使用可能)
	ISO9660 拡張	Joliet	最大 64 文字までをファイル名として使用可能。
		Romeo	最大 128 文字までをファイル名として使用可能。
	UDF 1.02 (Access Type = ReadOnly) ^{*1}		
マルチセッション	非対応 (先頭のセッションのみ対象)		
最大フォルダー階層数	8 階層 (Root を 0 階層目とした場合)		
最大フォルダー数	500 フォルダー (Root を含む)		
最大ファイル数 ^{*2}	5000 ファイル (メディア内合計数。再生不可のファイルは含まず)		
ファイル名、 フォルダー名の制限	上限 255 バイトで、上限を超えるファイル名やフォルダー名の表示はできません。またそのファイルやフォルダーの再生もできません。		
USB、SD カードの 対応フォーマット	USB デバイスの推奨ファイルシステムは、exFAT です。 SD カードは本機でフォーマット (P353) したものをご使用ください。 1 パーティションのみ対応しております。 SD カードの容量は設計上最大 2TB までサポートしております。SD カードのスピードクラスは Class10 以上、容量は 128GB までを推奨いたします。なお、すべての SD カードに対して動作を保証するものではありません。		

※ 1 パケットライトは非対応です。

※ 2 再生不可のファイルは含みません。ただし、同じフォルダーに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダーに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番は PC で表示される順番と異なる場合があります。

MP3とは

MP3とは「MPEG-1 Audio Layer3」の略称。MPEGとは「Moving Picture Experts Group」の略称でビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。

MP3はMPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の1つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。

音楽CDの音質をほとんど損なうことなく約1/10のデータ容量に圧縮することができるため、約10枚分の音楽CDを1枚のCD-R/RWへ書き込むことが可能になります。

■ 再生できるMP3ファイルの規格について

再生できるMP3ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	MPEG-1 AUDIO LAYER3	
	MPEG-2/2.5 AUDIO LAYER3	
サンプリング周波数 [kHz] ^{*1}	MPEG-1 : 32/44.1/48	
	MPEG-2 : 16/22.05/24	
	MPEG-2.5 : 8/11.025/12	
ビットレート[kbps]	MPEG-1 : 32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320	
	MPEG-2 : 8/16/24/32/40/48/56/64/80/96/112/128/144/160	
	MPEG-2.5 : 8/16/24/32/40/48/56/64	
VBR (可変ビットレート)	対応	
チャンネルモード	ステレオ/ジョイントステレオ/デュアルチャンネル/モノラル	
拡張子	mp3	
対応タグ情報	ID3タグ Ver.1.0、Ver.1.1、Ver.2.2、Ver.2.3、Ver.2.4 (ISO-8859-1 ^{*2} 、UTF-16 (Unicode)、UTF-8) タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー ^{*3} に 表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名 : 合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダーリスト表示時	全角28文字 ^{*4} (1階層のとき (Rootを0階層とする)) ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字 (全角1文字) 減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名: 全角28文字 ^{*4}

※1 64kHzは対応していません。

※2 ウムラウト記号「Ä ä」など記号のついた文字には対応していません。

※3 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※4 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

WMAとは

WMAとは、Windows Media Audioの略称で、Microsoft社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※ Microsoft、Windows Media、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

注意

- WMAは著作権保護機能(DRM)をサポートしており、著作権で保護されたWMAファイルを本オーディオシステムでは再生できません。

■ 再生できるWMAファイルの規格について

再生できるWMAファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	Windows Media Audio Version7/8/9	
サンプリング周波数 [kHz] ^{*1}	8/11.025/16/22.05/32/44.1/48	
ビットレート[kbps]	5～384	
VBR (可変ビットレート)	対応	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル/5.1chダウンミックス	
拡張子	wma	
対応タグ情報	WMAタグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー ^{*2} に 表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名：合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダリスト表示時	全角28文字 ^{*3} (1階層のとき(Rootを0階層とする)) ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字(全角1文字)減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名:全角28文字 ^{*3}

※1 64kHzは対応していません。

※2 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたWMAファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- 「Lossless」「Voice」には対応していません。

AACとは

AACとはAdvanced Audio Codingの略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、音質はほぼ同じです。

注意

- AACは著作権保護機能(DRM)をサポートしており、著作権で保護されたAACファイルを本オーディオシステムでは再生できません。

■再生できるAACファイルの規格について

再生できるAACファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	MPEG4/AAC-LC MPEG2/AAC-LC MPEG4/HE-AAC v1.v2 MPEG2/HE-AAC v1.v2	
サンプリング 周波数[kHz] ^{※1}	AAC-LC	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/88.2/96
	HE-AAC	16/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート [kbps]	AAC-LC	8～576
	HE-AAC	8～144
VBR(可変ビットレート)	対応	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル	
拡張子	m4aおよびaac (ただし、AppleLossless形式は再生できません)	
対応タグ情報	AACタグまたはID3タグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー ^{※2} に 表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名:合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダリスト表示時	全角28文字 ^{※3} (1階層のとき(Rootを0階層とする)) ●階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層 下がるごとに半角2文字(全角1文字)減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名:全角28文字 ^{※3}

※1 64kHzは対応しておりません。

※2 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたAACファイルやADIF形式のAACファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

WAVとは

WAVとは「RIFF waveform Audio Format」の略称で主にWindowsで使用されています。通常は非圧縮の音楽ファイルで、Microsoft社とIBM社で開発された音声データフォーマットです。

■再生できるWAVファイルの規格について

再生できるWAVファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	RIFF waveform Audio Format リニアPCM	
サンプリング周波数 [kHz] ^{*1}	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/88.2/96/176.4/192	
ビット数[bit]	8/16/24	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル	
拡張子	wav	
対応タグ情報	非対応	
ステータスバー ^{*2} に 表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名：合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダリスト表示時	全角28文字 ^{*3} (1階層のとき(Rootを0階層とする)) ●階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字(全角1文字)減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名:全角28文字 ^{*3}

※1 64kHzは対応しておりません。

※2 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたWAVファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

FLACとは

FLACとはFree Lossless Audio Codecの略称でライセンスフリーの音声データフォーマットです。可逆圧縮による音源のため音質の劣化がないのが特徴です。

■ 再生できるFLACファイルの規格について

再生できるFLACファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	FLAC 1.3.0	
サンプリング周波数 [kHz] ^{*1}	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/88.2/96/128/176.4/192	
ビット数 [bit]	4 ~ 24	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル/5.1chダウンミックス	
拡張子	flacおよびfla	
対応タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー ^{*2} に 表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名: 合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されることがあります。	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダリスト表示時	全角28文字 ^{*3} (1階層のとき (Rootを0階層とする)) ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字 (全角1文字) 減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名: 全角28文字 ^{*3}

※1 64kHzは対応しておりません。

※2 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたFLACファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

動画ファイルについて

再生できる動画ファイル形式

本機ではUSBデバイスやSDカードに記録された以下の動画ファイルを再生できます。

- MP4

- AVI 1.0/2.0 (DivXは除く)

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の動画ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に以下の内容をよくお読みください。

注意

- 拡張子(「.mp4」など)を異なったファイル形式のファイルに付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

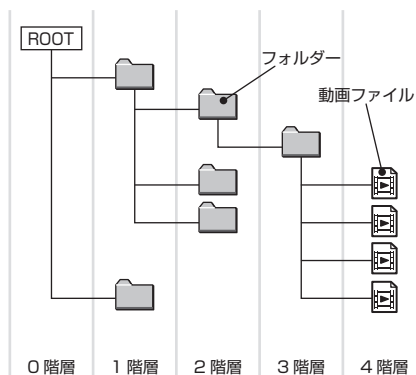
アドバイス

- 動画ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp4」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生できません。
- 複数の形式の動画ファイルが混在したメディアも再生できます。

フォルダーの構成について

フォルダーは8階層まで認識できます。

ジャンル→製作年月→タイトル(再生可能な形式の動画ファイル)といった階層を作成して動画を管理できます。



名称	説明
最大フォルダー階層数	8階層 (Rootを0階層目とした場合)
最大フォルダー数	500フォルダー (Rootを含む)
最大ファイル数 ^{*1}	5000ファイル (メディア内合計数。再生不可のファイルは含まず)
ファイル名、 フォルダー名の制限	上限255バイトで、上限を超えるファイル名やフォルダー名の表示はできません。またそのファイルやフォルダーの再生もできません。
USB、SDカードの 対応フォーマット	USBデバイスの推奨ファイルシステムは、exFATです。 SDカードは本機でフォーマット(P353)したものをご使用ください。 1パーティションのみ対応しております。 SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。

※1 再生不可のファイルは含みません。ただし、同じフォルダーに多数の動画を格納している場合は最大動画数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダーに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番はPCで表示される順番と異なる場合があります。

再生可能な動画ファイルの仕様

再生できる動画ファイルの仕様は以下のとおりです。

形式	拡張子	映像					音声
		コーデック	プロファイル/レベル	最大解像度	最大ビットレート	最大フレームレート	
MP4	mp4 m4v	H.264/ MPEG-4 AVC	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 HighProfile/3.1	1280 × 720	17.5Mbps	30fps	MP3 AAC
		MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)	Advanced Simple Profile/5	1280 × 720	12Mbps	30fps	
AVI 1.0/2.0 (DivX除く)	avi	H.264/ MPEG-4 AVC	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 HighProfile/3.1	1280 × 720	17.5Mbps	30fps	MP3 AAC WMA
		MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)	Advanced Simple Profile/5	1280 × 720	12Mbps	30fps	
		VC-1	SimpleProfile/ Medium MainProfile/ Medium Level AdvancedProfile/2	1280 × 720	20Mbps	30fps	

注意

- 上記規格以外で書き込まれた動画ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く

FM放送やAM放送のラジオの聴きかたについて説明します。

お知らせ

- 本機はワイドFMに対応しており、99MHzまで受信が可能です。ただし、StationListから探す(P154)では、95MHzまでとなります。
- ラジオの画面を表示しているとき、ルート案内中は、ルート案内表示画面に自動で切り換わりません。音声のみ案内します。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 RADIO にタップする

ラジオの再生情報画面を表示します。

3 FM または AM にタップする



4 ◀ または ▶ にタップして 選局する



選局した周波数の音声が流れます。

好みの放送局を登録する

お好みの放送局をFMに12局、AMに6局まで記憶できます。

1 ラジオ再生情報画面で ◀ または ▶ にタップし、登録したい“放送局”を探す

2 登録したい“プリセットボタン”に「ピッ!」と鳴るまでロングタップする →「操作のしかた」(P28)



プリセットボタン

ロングタップしたプリセットCH番号のボタンに選局した放送局を登録します。

アドバイス

- 放送局の選択にStationListを利用すると、受信可能な放送局がリストになっているため便利です。
→「StationListから探す」(P154)

■ 再生情報画面について



- ① **FM** , **AM**
FM放送、AM放送へ切り換えるときに使用します。
FMは12局、AMは6局までお好みの放送局を登録できます。
- ② ◀ , ▶
周波数を変更するときに使用します。
ロングタップ (P28) するとシークを開始します。
- ③ **エリア選局**
自車位置マークがある地域の放送局を自動でプリセットボタンにリストアップします。→「エリア選局から探す」(P154)
- ④ **プリセット**
エリア選局表示時、タップするとエリア選局を解除します。
- ⑤ **目盛り**
現在選ばれている周波数を目盛りで確認できます。
- ⑥ **放送局名**
現在選ばれている放送局名を表示します。
- ⑦ **プリセットボタン**
お好みの放送局を登録できます。
希望のプリセットCH番号のボタンに「ピッ!」と鳴るまでロングタップ (P28) すると、現在受信中の放送局を登録できます。
→「好みの放送局を登録する」(P152)
- ⑧ **AUDIO ソースボタン**
各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップするとAUDIOメニューを表示します。
→「AUDIOメニュー」(P33)
- ⑨ **交通情報**
交通情報画面を表示します。
→「交通情報を聴く」(P155)
- ⑩ **StationList**
受信できる放送局を探し、受信した放送局を表示します。
- ⑪ **ステレオインジケータ**
ステレオ受信時に表示します。
- ⑫ **周波数**
現在選ばれている周波数を表示します。
- ⑬ **▼** , **▲**
FM放送選択時に、プリセットボタンの表示を切り換えます。

受信状態の良い放送局を探す

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに受信できる放送局を探す場合に便利です。

ここでは、ラジオの再生情報画面からの操作方法を説明します。

■ シークを開始する

受信できる放送局を1つずつ探します。

1 ラジオの再生情報画面で ◀ または ▶ をロングタップする



受信できる放送局が見つかったら、音声は流れます。

■ エリア選局から探す

自車位置マークがある地域の放送局を自動でプリセットボタンにリストアップします。

1 ラジオの再生情報画面で

「エリア選局」にタップする

現在いる地域で、受信できる放送局を表示します。

2 聴きたい“放送局”にタップする



放送局が切り換わります。

アドバイス

- エリア選局で選局された放送局を好みのプリセットボタンに手動で登録しなおすことはできません。

■ StationListから探す

放送局をサーチして、受信できる放送局の一覧を表示します。

アドバイス

- リストは最大50件まで表示します。
- 電波の状況によりStationListに表示された放送局でも受信できない場合があります。

1 ラジオの再生情報画面で

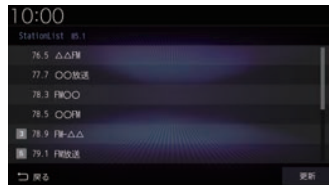
「StationList」にタップする

受信できる放送局を一覧表示します。

お知らせ

- ラジオモード中は自動で更新がされません。手動で更新してください。

2 聴きたい“放送局”にタップする



放送局が切り換わります。

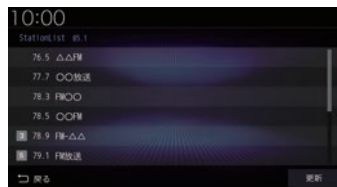
StationListを更新する

受信できる放送局を手動で更新します。

アドバイス

- StationListは自動更新されません。受信できない放送局がある場合は手動で更新をしてください。

1 StationList表示中に「更新」にタップする



受信できる放送局を一覧表示します。

交通情報を聴く

交通情報の聴きかたについて説明します。

- 1 **AUDIOメニュー**を表示する
(→P136)
- 2 **RADIO** にタップする
- 3 **交通情報** にタップする
交通情報の再生情報画面を表示します。
- 4 聴きたい“**周波数**”にタップする



選んだ周波数の交通情報が流れます。

表示内容について



- ① **FM** , **AM**
FM放送、AM放送へ切り換えるときに使用します。
- ② **周波数**
現在選ばれている周波数を表示します。
- ③ **1620** , **1629**
交通情報の周波数、1620kHzもしくは1629kHzを選ぶときにタップします。
- ④ **AUDIOソースボタン**
各ボタンにタップすると、AUDIOソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。
→「AUDIOメニュー」(P33)

DISC

音楽CDを聴く

音楽CD (CD-DA/CD-TEXT) の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P26)
また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽CD挿入後、[録音する]にタップすることでMusic Rackへの録音を開始します。
→「Music Rackに録音する」(P187)
→「音楽CDの録音方法を変更する」(P329)

お知らせ

- 音楽CDを本機に挿入した状態で操作してください。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 [DVD/CD] にタップする

音楽CDの再生情報画面を表示します。

3 [◀◀] または [▶▶] にタップして 曲を選ぶ

▼
選んだ曲を再生します。

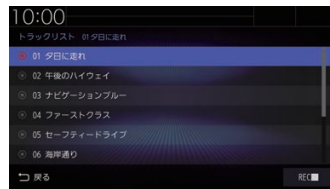
アドバイス

- [◀◀] または [▶▶] にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

リストを表示する

トラックリストを表示します。
ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で [リスト表示] にタップする

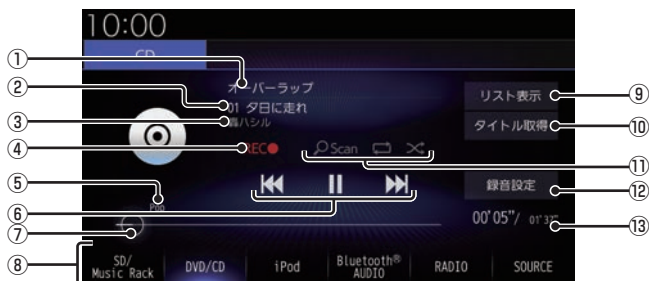


▼
トラックリストを表示します。

2 [戻る] にタップする

▼
音楽CDの再生情報画面に戻ります。

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。

② トラック番号/曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。

③ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「No Name」と表示します。

④ REC ● / REC ■

録音の開始や停止が行えます。
→「録音を開始/停止する」(P188)

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ ⏮, ⏪, ⏩, ⏭

トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑦ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑧ AUDIO ソースボタン

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップすると AUDIO メニューを表示します。
→「AUDIO メニュー」(P33)

⑨ リスト表示

トラックリストを表示します。
→「リストを表示する」(P156)

⑩ タイトル取得

手でタイトル情報を取得します。
→「タイトル情報を取得する」(P159)

⑪ 再生モードボタン

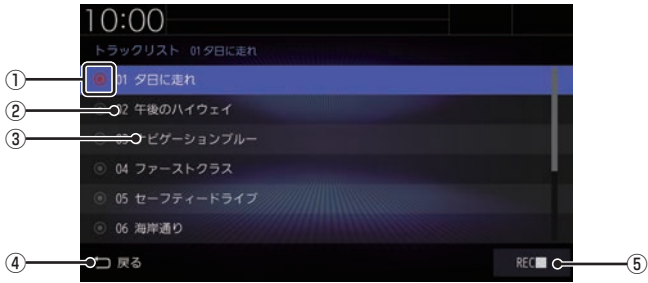
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P159)

⑫ 録音設定

録音方法の設定が行えます。
→「音楽 CD の録音方法を変更する」(P329)

⑬ 再生時間/曲の長さ

■ リストについて



① 録音状態アイコン

■ : 未録音 (グレー)

■ : 録音中 (赤)

※ 録音済みは表示されません。

② トラック番号

③ トラック名

トラック名を表示します。

タイトル情報がなければ、「No Title」と表示します。

④ 戻る

音楽 CD の再生情報画面に戻ります。

⑤ REC ● / REC ■

録音の開始や停止が行えます。

→「録音を開始/停止する」(P188)

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする









選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P157)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P159)になるまでタップしてください。

再生モードについて

 (スキャン)	ディスク内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	ディスク内の曲を順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

タイトル情報を取得する

音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得します。

お知らせ

- タイトル情報は、本機に記録されているGracenoteデータベースを利用してタイトル情報を取得します。
- CD-TEXTの場合はCD内からTEXT情報を取得して表示します。TEXT情報がない場合は、本機内のGracenoteデータベースからタイトル情報を取得して表示します。
- タイトル情報が取得できない場合は、「[No Title]」や「[No Name]」などと表示され、NoTitleリストに登録されます。
- 本機の発売時期以降に発売された音楽CDのタイトル情報は本機に記録されたGracenoteデータベースから取得できません。また、それ以前の音楽CDでも情報を取得できない場合があります。
- 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示する場合があります。
- CD-TEXTは日本語と英語以外の言語には対応しておりません。また、ウムラウト記号「Ää」など記号の付いた文字には対応しておりません。
- タイトル情報の取得が完了するまでに時間がかかる場合があります。

取得できる情報について

- アルバム名
- アルバムのアーティスト名
- トラック名
- トラックのアーティスト名
- ジャンル名

■ 手動で取得する

ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で

タイトル取得 にタップする



タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタップする



アルバム名/ アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に 表示します。タップすることで そのタイトル情報を適用します。
該当なし	タイトル情報なしの状態となり ます。NoTitleリスト (P201) へ の登録も行いません。
NoTitleリスト に登録	Music RackのNoTitleリスト にこの音楽CDの情報を登録しま す。後でまとめてタイトル情報を 取得できます。 →「NoTitleリストを管理する」 (P201)
通信で取得	インターネット・データ通信USB を使ってタイトル情報を取得し ます。ただし、あらかじめイン ターナビ・プレミアムクラブまた はHonda Total Careに会員登録 および本機のセットアップが 必要です。 →「インターネットをご利用になる 前に」(P299)
トラック情報	トラック情報を確認できます。 複数のアルバム情報がある場合 は、[トラック情報]にタップ後、 確認したいアルバム情報にタッ プしてください。

ディスクの音楽ファイルを聴く

ディスク内の音楽ファイルの聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P26)

お知らせ

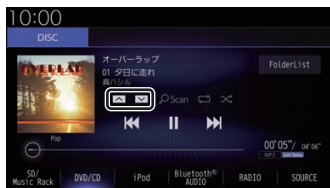
- 音楽ファイルのディスクを本機に挿入した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 [DVD/CD] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

3 [↑] または [↓] にタップして フォルダーを選ぶ



4 [◀◀] または [▶▶] にタップして 曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

アドバイス

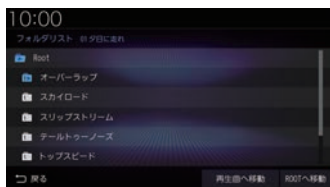
- [◀◀] または [▶▶] にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダーの階層を確認しながら曲を探すことができます。

ここでは、音楽ファイルの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽ファイルの再生情報画面で [FolderList] にタップする



リストを表示します。

2 [戻る] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOTへ移動] にタップすると、Rootフォルダーへ移動します。

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。

② ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{*1 *2}

③ ▲, ▼

フォルダーを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。

④ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。^{*2}

⑤ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑥ AUDIO ソースボタン (→P33)

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。

⑦ FolderList (→P163)

フォルダーリストを表示します。

⑧ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑨ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。^{*2}

⑩ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P164)

⑪ ◀, ||, ▶, ▶▶

ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。
◀▶ または ▶▶▶▶ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑫ 再生時間/曲の長さ

⑬ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

Stereo : ステレオ
Joint Stereo : ジョイントステレオ
Dual Channel : デュアルチャンネル
Monaural : モノラル

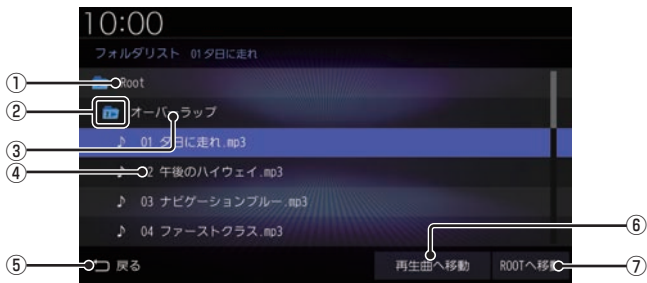
⑭ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

^{*1} ジャケット写真を表示する場合は、あらかじめ音楽データのタイトル情報にジャケット写真を設定しておく必要があります。
画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

^{*2} WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



- ① **Root**
階層の最上位を示します。
- ② **階層番号**
フォルダーの階層位置を示します。
- ③ **フォルダー名**
タップすると、フォルダーを展開します。
- ④ **ファイル名**
タップすると、曲の再生を開始します。
- ⑤ **戻る**
音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。
- ⑥ **再生曲へ移動**
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。
- ⑦ **ROOTへ移動**
Root フォルダーへ移動します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 音楽ファイルの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする








選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P162)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P164)になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

 (スキャン)	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (フォルダスキャン)	ディスク内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (フォルダリピート)	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
 (オールランダム)	ディスク内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。


DVD ビデオを見る

DVDビデオの見かたについて説明します。

注意

- DVDビデオの映像は安全のため走行中は表示されません。(リア席モニターには表示されます)
- DVDビデオをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。

お知らせ

- DVDビデオによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、DVDビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、マークを表示します。
- 本機は「DTS Digital Surround™」(P383)に対応しておりませんので、「DTS Digital Surround™」を選んでいた場合は音声が出力されません。必ず「DTS Digital Surround™」以外の音声を選んでください。
- MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
- DVDビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアからDVDビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P26)

お知らせ

- DVDビデオを本機に挿入した状態で操作してください。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 **DVD/CD** にタップする

DVDビデオの再生画面を表示します。

3 **< CHAPTER >** にタップして チャプターを選ぶ

選んだチャプターの再生を開始します。

アドバイス

- **< CHAPTER >** にロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。約5秒以上ロングタップすると、ボタンから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 **< CHAPTER >** にタップします。

DVDビデオの操作画面を表示する

DVDビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 画面のいずれかにタップする



操作画面を表示します。

お知らせ

- 本書ではDVDビデオの各モードを区別するために以下のように表記しています。

DVD VIDEO	ビデオモードで記録されたディスク
DVD-VR	VRモードで記録されたディスク

■ 再生中の操作画面

DVD VIDEO の場合

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早送り中
- : 早戻し中
- : スロー再生中

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。
→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P170)

③ 切換 ※1

音声の言語 / 種別や字幕情報の選択 (P171) や画面表示の切り換え (P172)、アングルの切り換え (P172) が行えます。

④ 数字入力

DVD ビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。
→「数字入力でメニューを選ぶ」(P174)

⑤ メニュー

記録されているタイトルメニューを表示します。
→「メニューを操作する」(P173)

⑥ メニュー操作

メニュー操作パネルを表示します。

⑦ < TITLE >

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑧ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑨ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑩ 停止

再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。
→「停止中の操作画面」(P169)

⑪ スロー

タップするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] …
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑫ リターン

あらかじめ DVD ビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。(リターン再生) ディスクに戻る位置の指定が収録されている場合にのみ有効です。

⑬ < CHAPTER >

前後のチャプターを選ぶときに使用します。ロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。






※1 一時停止中は、[音声]、[字幕]、[アングル]の選択ができません。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、タイトル、チャプター番号、音声多重アイコン、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

-  : 再生中
-  : 一時停止中
-  : 早送り中
-  : 早戻し中
-  : スロー再生中

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P170)

③ 切替

音声の番号/種別や字幕ON/OFFの選択(P171)や画面表示の切り換え(P172)が行えます。

④ タイトルリスト

記録されているタイトルリストを表示します。
→「タイトルリストを表示する」(P175)

⑤ 音声多重切替

二ヶ国語放送のような複数の音声収録されていた場合、タップするたびに[主音声]→[副音声]→[主/副]→[主音声]・・・のように音声を切り換えることができます。
→「音声多重を切り換える」(P175)

⑥ <TITLE>

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑨ 停止

再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。
→「停止中の操作画面」(P169)

⑩ スロー

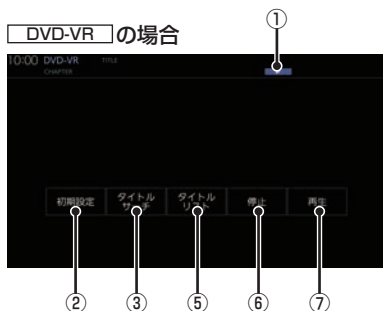
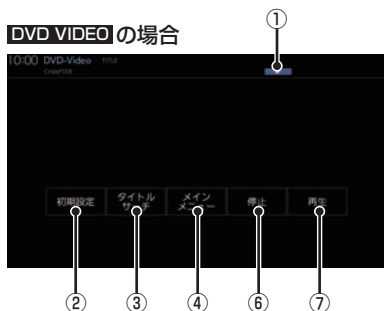
タップするたびに
[1/2]→[1/8]→[1/32]→[1/2]・・・と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑪ <CHAPTER>



前後のチャプターを選ぶときに使用します。ロングタップ(P28)すると早送り、早戻しができます。

■ 停止中の操作画面

停止中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① 状態アイコン

-  (点滅)：停止中(続き再生可能)
- ：停止中(続き再生不可)

② 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。
→「DVDビデオの初期設定」(P330)

③ タイトルサーチ

タイトル番号を入力して選ぶことができます。
→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P170)



④ メインメニュー

記録されているメインメニューを表示します。
→「メニューを操作する」(P173)



⑤ タイトルリスト

記録されているタイトルリストを表示します。
→「タイトルリストを表示する」(P175)

⑥ 停止

再生中から停止にしたとき(状態アイコン  が点滅状態)は続き再生ができます。再度「停止」にタップすると状態アイコンが  になり続き再生ができなくなります。

⑦ 再生

状態アイコン  が点滅状態であれば、続き再生ができます。状態アイコンが  であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

■ 走行中の操作制限について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。

お知らせ

- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。



- 再生**
一時停止、スロー再生の状態を解除して通常再生に戻ります。
- 一時停止**
一時停止します。
- 停止**
再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。(→P169)
- < TITLE >**
前後のタイトルを選ぶときに使用します。
- < CHAPTER >**
前後のチャプターを選ぶときに使用します。ロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。

DVD VIDEO | DVD-VR

タイトル番号やチャプター番号を選ぶ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

- 再生中、画面にタップする**
- サーチ** にタップする
- タイトル** または **チャプター** にタップする



- 再生したい“番号”を入力する**



→「文字入力のしかた」(P57)

- 決定** にタップする

指定した番号のタイトルまたはチャプターから再生します。

アドバイス

- タイトルの場合は最大で2桁、チャプターの場合は最大3桁まで入力できます。
- 手順4で最大桁数まで入力した場合は、手順5の[決定]は必要ありません。

■ 停止画面からの操作

停止中では、タイトル番号の変更のみ行えます。

- 1 停止中、画面にタップする
- 2 **タイトルサーチ** にタップする
- 3 再生したい“番号”を入力する
→「文字入力のしかた」(P57)
- 4 **決定** にタップする



指定した番号のタイトルから再生します。

アドバイス

- 手順3で最大桁数の2桁まで入力した場合は、手順4の[決定]は必要ありません。

DVD VIDEO | DVD-VR

音声 / 字幕を切り換える

DVD VIDEO では音声の言語 / 種別や字幕情報の選択が行え、**DVD-VR** では音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択が行えます。

DVD VIDEO の場合、一時停止中は [音声]、[字幕] の選択ができません。

- 1 再生中、画面にタップする
- 2 **切換** にタップする
- 3 **音声** または **字幕** にタップする



音声または字幕の切換メニューを表示します。

- 4 **音声** または **字幕** にタップする



タップするたびに、音声または字幕が切り換わります。

アドバイス

- 変更中には音声情報または字幕情報がソースプレートに表示されます。

画面表示を切り換える

DVDビデオでは3種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

- 1 再生中、画面にタップする
- 2 **切換** にタップする
- 3 **ワイド** にタップする
モードの切換メニューを表示します。
- 4 いずれかの“モード”にタップする



モード



画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

- 通常画面は縦横比 4:3 です。
- ズームでは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行う)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

アングルを切り換える

複数のアングルが収録されたDVDビデオであればアングルを切り換えることができます。一時停止中は、[アングル]の選択ができません。

- 1 再生中、画面にタップする
- 2 **切換** にタップする
- 3 **アングル** にタップする
アングルの切換メニューを表示します。
- 4 **アングル** にタップする



タップするたびに、アングルが切り換わります。

アドバイス

- 変更中にはアングル番号がソースプレートに表示されます。

メニューを操作する

タイトルメニューやメインメニューを表示し、各メニューの選択および決定が行えます。

■ タイトルメニューの場合

1 再生中、画面にタップする

2 **メニュー** にタップする

タイトルメニューを表示します。
直接、画面のメニューボタンにタップして選択または決定を行います。
メニュー操作パネルで操作したい場合は、手順3へ進みます。

アドバイス

- PsideP (P62) を表示しているときは、メニューボタンを直接タップできません。

3 **ボタンON** にタップする

メニュー操作パネルを表示します。

4 カーソルボタンにタップしてメニューを選ぶ



5 **決定** にタップする

選択したメニューの再生を開始します。

アドバイス

- メニュー操作パネルは、DVDのコンテンツの構成によって直接タップするのが困難な場合に便利です。
- メニュー操作パネルで[戻る]にタップすると映像はタイトルメニューのまま操作画面を表示します。
- [左へ移動]または[右へ移動]にタップすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

■ メインメニューの場合

1 停止中、画面にタップする

2 **メインメニュー** にタップする

メインメニューを表示します。
直接、画面のメニューボタンにタップして選択または決定を行います。
メニュー操作パネルで操作したい場合は、手順3へ進みます。

アドバイス

- PsideP (P62) を表示しているときは、メニューボタンを直接タップできません。

3 **ボタンON** にタップする

メニュー操作パネルを表示します。

4 カーソルボタンにタップしてメニューを選ぶ



5 **決定** にタップする

選択したメニューの再生を開始します。

アドバイス

- メニュー操作パネルは、DVDのコンテンツの構成によって直接タップするのが困難な場合に便利です。
- メニュー操作パネルで[戻る]にタップすると映像はタイトルメニューのまま操作画面を表示します。
- [左へ移動]または[右へ移動]にタップすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

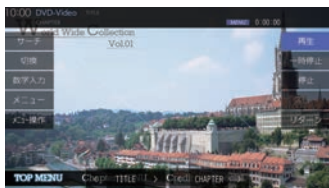
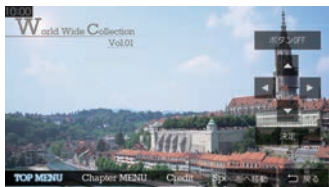
数字入力でメニューを選ぶ

DVDビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

1 メニューを表示する

→「メニューを操作する」(P173)

2 戻る にタップする



操作画面を表示します。

3 数字入力 にタップする

4 再生したい「メニュー番号」を入力する



→「文字入力のしかた」(P57)

5 決定 にタップする

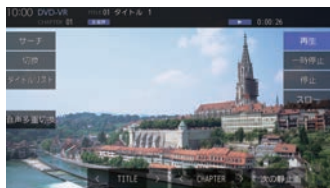
指定したメニュー番号の項目を再生します。

静止画を送る

静止画表示中に、次の静止画を表示できます。

1 静止画表示中、画面にタップする

2 次の静止画 にタップする



タップするたびに、次の静止画の表示に切り換わります。

音声多重を切り換える

二ヶ国語放送のような複数の音声収録されていた場合、音声を切り換えることができます。

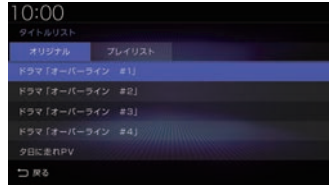
- 1 再生中、画面にタップする
- 2 **音声多重切換** にタップする



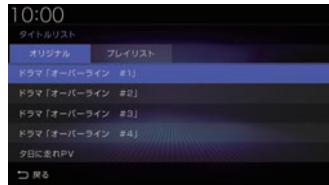
タップするたびに、[主音声]→[副音声]→
[主/副]→[主音声]・・・と切り換わります。

タイトルリストを表示する

- 1 再生中または停止中、画面に
タップする
- 2 **タイトルリスト** にタップする
タイトルリストを表示します。
- 3 **オリジナル** または
プレイリスト にタップする



- 4 再生したい“メニュー”に
タップする



選んだメニューの再生を開始します。

視聴制限のある DVDビデオを再生したとき

視聴制限 (P331) で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のある DVDビデオを再生すると、視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。また、DVDビデオによっては、視聴制限のあるシーンに差し掛かるとパスワードを入力する画面を表示する場合があります。ここでは、パスワードを入力する画面が表示された場合の説明をします。

パスワード入力する画面が表示されたら・・・

1 [戻る] にタップする



視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。

アドバイス

- パスワードを入力する画面「*視聴制限のレベルを設定する*」(P331) で設定したパスワードを入力すると視聴制限のあるシーンを再生することができます。
- ディスクによっては、[戻る]にタップしても継続して再生することができない場合があります。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを確認してください。

SD/Music Rack

SDカードの曲を聴く

音楽ファイルが記録されたSDカードを本機で再生できます。

音楽ファイルが記録されたSDカードを本機のSDカードスロットに挿入した状態で操作してください。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

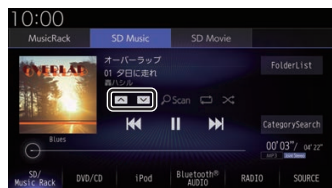
2 [SD/Music Rack] にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
音楽ファイルのみ記録されたSDカードを挿入していた場合は、手順4へ進みます。

3 [SD Music] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

4 [↑] または [↓] にタップして フォルダーを選ぶ



5 [◀] または [▶] にタップして 曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

アドバイス

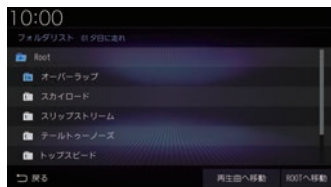
- [◀] または [▶] にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

リストを表示する

CategorySearchモード (P180) がOFFのとき、フォルダーの階層を確認しながら曲を探ることができます。

ここでは、SDカードの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 SDカードの再生情報画面で [FolderList] にタップする



リストを表示します。

2 [戻る] にタップする

SDカードの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOTへ移動] にタップすると、Rootフォルダーへ移動します。
- CategorySearchモードがONのとき、[FolderList] ボタンは非表示になります。[CategorySearch] にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。

このとき、再生モード (P180) を設定している場合は、再生モードは解除されます。

再生情報画面について



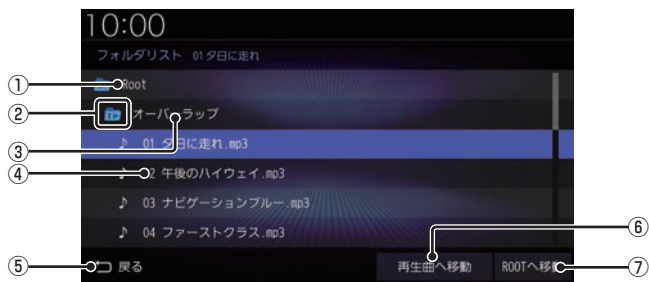
- ① **SD Movie** (→P183)
SDカードの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。*1
- ② **Music Rack** (→P189)
再生情報画面をMusic Rackに切り換え、Music Rackの再生を開始します。
- ③ **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。
- ④ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*2 *3
- ⑤ **▲, ▼**
フォルダーを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。
- ⑥ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。*3
- ⑦ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。
- ⑧ **AUDIO ソースボタン** (→P33)
各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。
- ⑨ **トラック番号/曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。
- ⑩ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。*3
- ⑪ **FolderList** (→P179)
フォルダーリストを表示します。
- ⑫ **再生モードボタン** (→P180)
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
- ⑬ **⏮, ⏪, ⏩, ⏭**
ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⑭ **CategorySearch** (→P181)
CategorySearchモードをON/OFFに切り換えます。
- ⑮ **再生時間/曲の長さ**
- ⑯ **チャンネルモード**
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。
Stereo : ステレオ
Joint Stereo : ジョイントステレオ
DualChannel : デュアルチャンネル
Monaural : モノラル
- ⑰ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

*1 Apple CarPlayを利用中は、SDカードの動画を見ることができません。

*2 ジャケット写真を表示する場合は、あらかじめ音楽データのタイトル情報にジャケット写真を設定しておく必要があります。
画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*3 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて

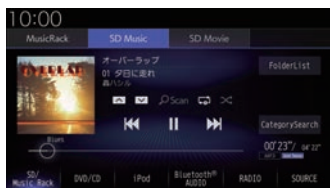
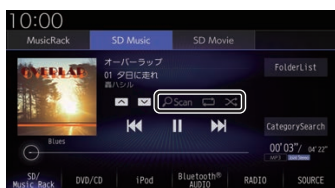


- ① **Root**
階層の最上位を示します。
- ② **階層番号**
フォルダーの階層位置を示します。
- ③ **フォルダー名**
タップすると、フォルダーを展開します。
- ④ **ファイル名**
タップすると、曲の再生を開始します。
- ⑤ **戻る**
SDカードの再生情報画面に戻ります。
- ⑥ **再生曲へ移動**
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。
- ⑦ **ROOTへ移動**
Root フォルダーへ移動します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 SDカードの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする












選んだモードの再生を開始します。

アドバイス








- 同一の再生モードボタン(P178)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P180)になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

CategorySearch モードOFF のとき

 (スキャン)	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (フォルダスキャン)	SDカード内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (フォルダリピート)	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
 (オールランダム)	SDカード内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

CategorySearch モードON のとき

 (アルバム内スキャン)	SDカード内の全アルバムの1曲目を約10秒間ずつ再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内の曲を順不同に再生します。
 (アルバムランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内のすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

アドバイス

- CategorySearchモードONのときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。
- ランダム、アルバムランダム再生を行うと、リストも並び替わります。
- アルバムスキャンは、1つのアルバムに絞り込んで再生しているときに使用できます。

カテゴリーから探す

カテゴリー別にリストを表示して曲を探すことができます。

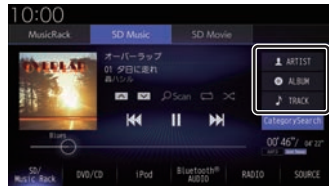
ここでは、SDカードの再生情報画面 (CategorySearchモードOFF時)からの操作方法を説明します。

- 1 SDカードの再生情報画面で **CategorySearch** にタップする**
CategorySearchモードをONにします。

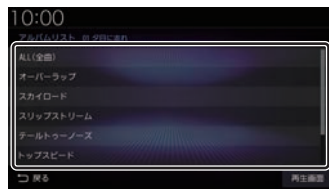
アドバイス

- CategorySearchモードをONにすると、カテゴリーをトラックリストにしたときの先頭曲から再生を開始します。
- 再生モード(P180)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

- 2 いずれかの“カテゴリー”にタップする**



- 3 リストから再生したい“項目”にタップする**



選んだ項目内のリストを表示します。手順3の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

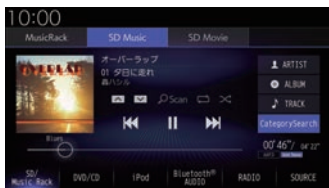
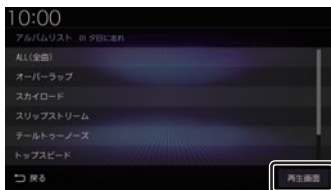
アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で **再生画面** に タップする



SDカードの動画を見る

動画ファイルが記録されたSDカードを本機で再生できます。

動画ファイルが記録されたSDカードを本機のSDカードスロットに挿入した状態で操作してください。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 **SD/Music Rack** にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
動画ファイルのみ記録されたSDカードを挿入していた場合は、手順4へ進みます。

3 **SD Movie** にタップする

動画ファイルの再生画面を表示します。

4 **< TRACK >** にタップして再生する動画を選ぶ

選んだ動画の再生を開始します。

アドバイス

- **< TRACK >** にロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。約5秒以上ロングタップすると、ボタンから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 **< TRACK >** にタップします。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。
- Music Rack への録音中はSDカードの動画を見ることはできません。
- Apple CarPlay を利用中は、SDカードの動画を見ることはできません。

リストを表示する

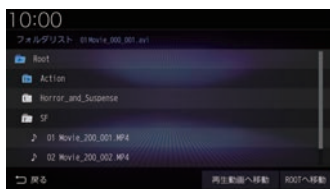
フォルダーの階層を確認しながら動画を探すことができます。

ここでは、動画ファイルの再生画面からの操作方法を説明します。

1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

2 **FolderList** にタップする



リストを表示します。

詳しくは、「**リストについて**」(P179) を参考にご覧ください。

3 **戻る** にタップする

動画ファイルの操作画面に戻ります。

表示内容について

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在の状態を表示します。詳しくは、「ソースプレートについて」(P185)をご覧ください。

② FolderList

フォルダーリストを表示します。
→「リストについて」(P179)

③ SD Music

再生情報画面をSDカードの音楽ファイルに切り換え、再生を開始します。
→「SDカードの曲を聴く」(P177)

④ Music Rack

Music Rackの再生情報画面(P190)を表示します。

⑤ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑥ < Folder >

前後のフォルダーを選ぶときに使用します。選んだフォルダーの先頭ファイルの再生を開始します。

⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑨ スロー

タップするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

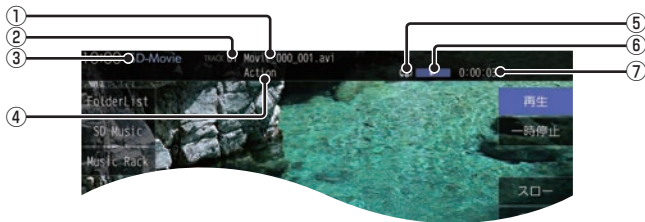
⑩ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P186)

⑪ < TRACK >

前後のファイルを選ぶときに使用します。ロングタップ(P28)すると早送り、早戻しができます。

■ ソースプレートについて



① トラック名

再生している動画のトラック名を表示します。

② トラック番号

再生している動画のトラック番号を表示します。

③ ソース名

④ フォルダー名






再生している動画ファイルのフォルダー名を表示します。

⑤ 再生モード

現在の再生モードをアイコンで表示します。
→「再生モードを変更する」(P186)

⑥ 状態アイコン

再生の状態をアイコンで表示します。

-  : 再生中
-  : 一時停止中
-  : 早送り中
-  : 早戻し中
-  : スロー再生中

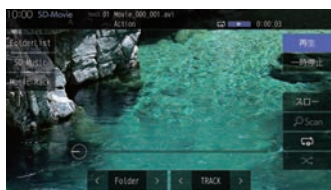
⑦ 再生時間

再生モードを変更する

1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

2 変更したい“モード”にタップする







選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P184)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときには、モード解除を示すアイコン(P186)になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

 (スキャン)	再生中の動画があるフォルダー内のすべての動画が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (フォルダスキャン)	SDカード内の全フォルダーの1つ目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の動画を繰り返して再生します。
 (フォルダリピート)	再生中の動画があるフォルダーを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の動画があるフォルダー内の動画を順不同に再生します。
 (オールランダム)	SDカード内の動画すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

アドバイス

- リピート再生中にランダム再生を行うと、リピート再生が解除されます。
- ランダム再生を行うと、リストも並び替わります。

Music Rack に録音する

Music Rack への録音について

本機は、挿入した音楽 CD の曲を約 4 倍速で専用 SD カードに録音できます。Music Rack に音楽 CD を録音するときは、専用 SD カードを使用してください。工場出荷時の設定であれば、本機に音楽 CD を挿入後、[録音する] にタップすることで音楽 CD 内の曲をすべて Music Rack に録音します。

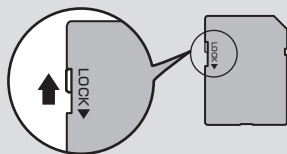


注意

- 録音したものを個人で楽しむ以外の目的で使用する場合は、著作権法上禁止されています。
- Music Rack に録音できるのは音楽 CD (CD-DA) からのみです。MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC などの音楽ファイルが記録されたディスクやその他のメディア (SD カードや USB メモリーなど) からの録音はできません。
- DTS-CD の曲が一緒に収録されている音楽 CD (CD-DA) を録音すると、DTS-CD の曲も録音されます。録音された DTS-CD の曲を再生するとノイズが再生されますので DTS-CD の曲は録音しないでください。
- 録音はエンジンがかかっている状態のときに行ってください。録音中にエンジンをかけると正しく録音できない場合があります。また、SD カードが破損する可能性があります。
- 新たな専用 SD カードを使用する場合、初めて使う際に正しく録音できないときは、「メモリ初期化」(P353) の [SD カードの初期化] で初期化を行ってください。
- 市販されている SD カードを使用するには、あらかじめ「メモリ初期化」(P353) の [SD カードの初期化] で初期化しておく必要があります。ただし、動作の保証はいたしかねます。

お知らせ

- 専用 SD カードを本機の SD カードスロットに挿入した状態で操作してください。(SD カードの Lock は解除しておいてください。)



- 録音中に追いかけ再生または Music Rack の曲を再生したとき、再生音が一瞬途切れることがあります。再生音が途切れても録音は正常にされています。
- 1 枚の SD カードに最大 999 曲まで録音できます。ただし、1 曲が 8 分 24 秒以上の場合には 8 分 24 秒ごとに曲が分割されるため 999 曲まで録音できない場合があります。
- SD カードの容量がいっぱいになった場合は、それ以上録音できません。(録音できるデータ容量の目安：1 分 1MB)
- 録音したものは原音とは音質が異なる場合やノイズが混入する可能性があります。
- Music Rack に録音した曲を別のメディア (CD-R/RW、ハードディスク、USB メモリー、SD カードなど) には複製/移動できません。
- すでに録音した曲は同じ音楽 CD から重複して録音できません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。

次のページにつづく

お知らせ

- 追いかけて再生準備のため、録音開始直後は再生に時間がかかることがあります。別のオーディオソースをお楽しみいただくことをおすすめいたします。
- 録音状況により再生を一時停止することがあります。(録音は継続します。)再生が一時停止すると、しばらく無音状態となりますので、別のオーディオソースをお楽しみいただくことをおすすめいたします。
- 読み込みエラーがあった場合は、次の曲に進み録音を開始します。
- 曲と曲の間にブランクがない場合は、曲間に無音が録音されます。
- SCMS (孫コピー防止技術) の働きにより、音楽CDをデジタル録音したディスクからMusic Rackへは録音できません。
- 録音中はSDカードの動画を見ることができません。

録音を開始 / 停止する

ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

→「音楽CDを聴く」(P156)

アドバイス

- 録音方法を変更できます。
→「音楽CDの録音方法を変更する」(P329)
- 録音設定が「シングル録音」だった場合、1曲目以外は録音できません。

1 録音したい曲を再生する

2 音楽CDの再生情報画面で

REC ● にタップする

3 **開始する** にタップする



選んだ曲の録音を開始し、追いかけて再生を行います。

4 録音を停止するときは、

REC ■ にタップする



録音を停止します。

Music Rack を聴く

Music Rackとは、SDカードに音楽CDの曲を録音し、再生する機能です。

注意

- SDカードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

お知らせ

- 本製品を譲渡するときなどは著作権法上、音楽録音したSDカードを必ず抜き取り譲渡対象外としてください。
→「メモリ初期化」(P353)
- SDカードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 **SD/Music Rack** にタップする
前回の再生情報画面を表示します。
Music Rackのみ記録されたSDカードを挿入していた場合は、手順4へ進みます。

3 **Music Rack** にタップする
Music Rackの再生情報画面を表示します。

4 **◀▶** または **▶▶** にタップして
曲を選ぶ



▼
選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ◀▶** または **▶▶** にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- プレイリスト内の曲を再生している場合は、**◀** または **▶** にタップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

■ SD-Audio について

本機のMusic RackはSD-Audio規格に対応しています。

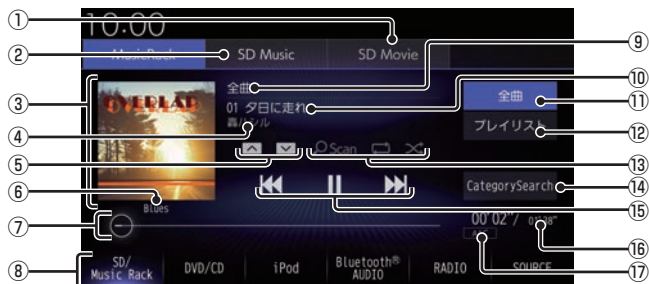
ご家庭のパソコンなどでSD-Audio規格で録音した音楽ファイルのSDカードを本機のSDカードスロットに挿入することで、Music Rackとして再生できます。

SD-Audio規格は、著作権保護のため暗号化をしています。そのため暗号を解除できない音楽ファイルは再生できません。(音楽ファイルだけをそのままSDカードにコピーした場合など)

他の機器で録音したプレイリストの情報について
他の機器で録音したプレイリストの情報を本機で編集すると、以下のようになります。

- プレイリスト名/トラック名/アルバム名/アーティスト名/ジャンル名以外の情報は消去されます。
- 各名称の31文字以降はカットされます。
- 規定外の文字コードで入力されている文字は“□”で表示されます。

再生情報画面について



- ① **SD Movie** (→P183)
SDカードの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。^{*1}
- ② **SD Music** (→P177)
再生情報画面をSDカードの音楽ファイルに切り換え、再生を開始します。
- ③ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{*2}
- ④ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「No Name」と表示します。
- ⑤ **▲, ▼**
プレイリストを選ぶときに使用します。(プレイリスト内の曲を再生しているときに選択できます。)
タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。
- ⑥ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。
- ⑦ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。
- ⑧ **AUDIO ソースボタン** (→P33)
各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。
- ⑨ **全曲/プレイリスト名**
全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。
- ⑩ **トラック番号/曲名**
タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。
- ⑪ **全曲** (→P192)
全曲のトラックリストを表示します。
- ⑫ **プレイリスト** (→P191)
プレイリスト選択画面を表示します。
- ⑬ **再生モードボタン** (→P198)
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
- ⑭ **CategorySearch** (→P199)
CategorySearchモードをON/OFFに切り換えます。
- ⑮ **⏮, ⏪, ⏩, ⏭**
トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⑯ **再生時間/曲の長さ**
- ⑰ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

※1 Apple CarPlayを利用中は、SDカードの動画を見ることができません。

※2 ジャケット写真を表示する場合は、あらかじめ音楽データのタイトル情報にジャケット写真を設定しておく必要があります。画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ プレイリスト選択画面



① プレイリスト名

タップすると、そのプレイリスト内のトラックリストを表示します。

→「トラックリストについて」(P192)

② No Title リスト

取得できなかったアルバムのタイトル情報をさまざまな方法で取得できます。

→「タイトル情報を取得する」(P200)

③ 戻る

Music Rackの再生情報画面(P190)に戻ります。

④ ^ PLAYLIST ▼

プレイリストを選ぶときに使用します。タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ 再生順変更

プレイリストの再生順序を変更できます。
→「プレイリストの再生順序を変更する」(P195)

⑥ 編集・消去

プレイリストの編集(P193)または消去(P194)が行えます。

■ トラックリストについて



① 全曲/プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。
プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

② トラック番号/曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。
タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。
タップすると、選択した曲の再生を開始します。

③ 戻る

全曲再生の場合は、再生情報画面 (P190) を表示し、プレイリスト内の曲を再生している場合は、プレイリスト選択画面 (P191) を表示します。

④ No Titleリスト

取得できなかったアルバムのタイトル情報をさまざまな方法で取得できます。
→「タイトル情報を取得する」(P200)

⑤ 再生順変更

トラックの再生順序を変更できます。
→「トラックの再生順序を変更する」
(P197)

⑥ 再生画面

Music Rackの再生情報画面 (P190) に戻ります。

⑦ 編集・消去

トラックの編集 (P196) または消去 (P197) が行えます。

⑧ ^ PLAYLIST v

プレイリストを選ぶときに使用します。
タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

プレイリスト選択画面を表示する

Music Rackに音楽CDの曲を録音すると、自動的にアルバムごとのプレイリストが作成されます。このプレイリストをアルバムごとに選択できます。

ここでは、Music Rackの再生情報画面からの操作方法を説明します。

お知らせ

- Music Rackに1曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

1 Music Rackの再生情報画面で、 プレイリスト にタップする



プレイリスト選択画面を表示します。各プレイリストにタップすると、そのプレイリストのトラックリストを表示します。

2 戻る にタップする

Music Rackの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- CategorySearchモードがONのとき、[プレイリスト]ボタンは非表示になります。[CategorySearch]にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。このとき、再生モード(P198)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

プレイリストを編集する

プレイリストのタイトルや再生順序の変更、消去が行えます。

■ プレイリストのタイトルを変更する

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P193)

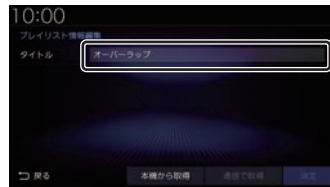
1 編集・消去 にタップする

2 タイトルを変更したい“プレイリスト”にタップする



プレイリストの情報編集画面を表示します。

3 “タイトル”にタップする



アドバイス

- [本機から取得]または[通信で取得]にタップすると、選択しているプレイリストのタイトル情報を取得できます。→「タイトル情報を取得する」(P200)

4 変更したい“タイトル”を入力し、

入力完了 にタップする

→「文字入力のしかた」(P57)



▼
プレイリストの情報編集画面に戻ります。

5 **決定** にタップする

▼
選択したプレイリストのタイトル変更が完了します。

■ プレイリストを消去する

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P193)

アドバイス

- ・ 録音中にこの操作は行えません。

1 **編集・消去** にタップする

2 消去したいプレイリストの“チェックボックス”にタップし、選択する



アドバイス

- ・ [全選択]にタップすると、すべてのプレイリストを選択できます。
- ・ [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 **消去** にタップする

4 **消去する** にタップする

▼
選択したすべてのプレイリストの消去が完了します。

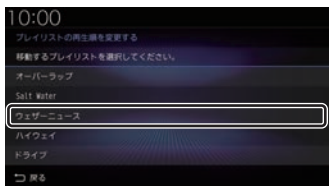
■ プレイリストの再生順序を変更する

Music Rack内のプレイリストは録音順に格納され、通常その順序で再生されます。本機能は、プレイリストの再生順序を変更できます。ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

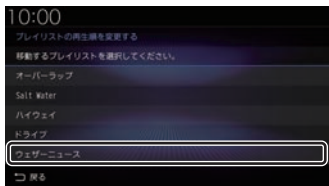
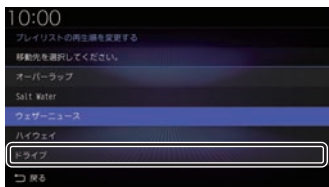
→「プレイリスト選択画面を表示する」
(P193)

1 **再生順変更** にタップする
再生順序を変更する画面を表示します。

2 再生順序を変更したい
“プレイリスト” にタップする



3 移動先の“プレイリスト” にタップする



再生順序の変更が完了します。

アドバイス

- 手順3でプレイリストを直接タップすることでタップしたトラックの位置に移動します。

トラックリストを表示する

お知らせ

- Music Rackに1曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

■ 全曲再生のトラックリストを表示する

Music Rack内に録音されたすべてのトラックリストを表示します。

ここでは、Music Rackの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 Music Rackの再生情報画面で、
全曲 にタップする



全曲のトラックリストを表示します。各トラックにタップすると、そのトラックの再生を開始します。

2 **戻る** にタップする

Music Rackの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- CategorySearchモードがONのとき、[全曲]ボタンは非表示になります。[CategorySearch]にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。
- このとき、再生モード(P198)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

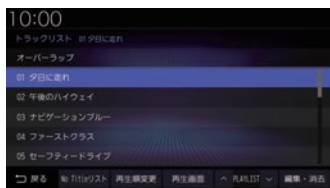
■ プレイリスト内のトラックリストを表示する

アルバムごとに管理されたプレイリストを選択し、そのトラックリストを表示します。

1 Music Rackの再生情報画面で、**プレイリスト**にタップする

プレイリスト選択画面を表示します。

2 再生したい「プレイリスト」にタップする



選択したプレイリストのトラックリストを表示します。
各トラックにタップすると、そのトラックの再生を開始します。

3 **戻る**にタップする

プレイリスト選択画面に戻ります。

トラックを編集する

トラックの情報や再生順序の変更、消去が行えます。

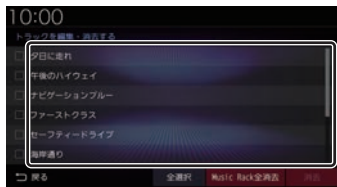
■ トラックの情報を編集する

トラックのタイトルやアルバム名などの情報を変更できます。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P195)

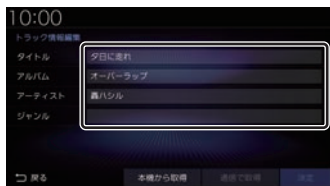
1 **編集・消去**にタップする

2 タイトルを変更したい「トラック」にタップする



トラックの情報編集画面を表示します。

3 変更したいいずれかの「入力ボックス」にタップし、入力する



4 **入力完了**にタップする



→「文字入力のしかた」(P57)

アドバイス

- ・ [本機から取得] または [通信で取得] にタップすると、選択しているトラックのタイトル情報を取得できます。

→「タイトル情報を取得する」(P200)

5 **決定**にタップする

選択したトラック情報の変更が完了します。

■ トラックを消去する

ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P195)

1 [編集・消去] にタップする

2 消去したいトラックの“チェックボックス”にタップし、選択する



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべてのトラックを選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 [消去] にタップする

4 [消去する] にタップする

▼
選択したすべてのトラックの消去が完了します。

■ トラックの再生順序を変更する

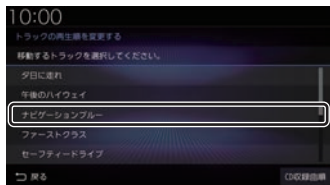
ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P195)

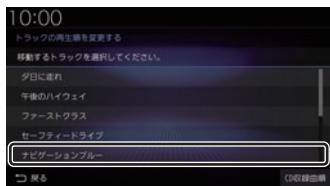
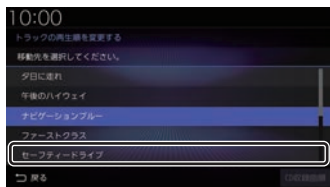
1 [再生順変更] にタップする

再生順序を変更する画面を表示します。

2 再生順序を変更したい“トラック”にタップする



3 移動先の“トラック”にタップする



再生順序の変更が完了します。

アドバイス

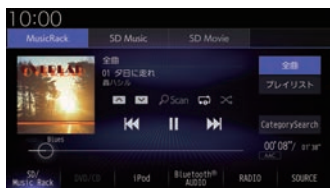
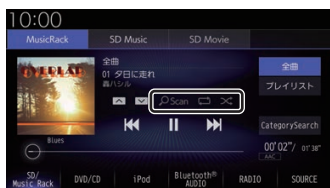
- 手順3でトラックを直接タップすることで、タップしたトラックの位置に移動します。
- プレイリスト内のトラックリスト (P196) を表示している場合は、[CD収録曲順]にタップすると、CDの収録した順番に並び替えます。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

この操作は、Music Rackの再生情報画面(P190)から行えます。



1 Music Rackの再生情報画面で変更したい“モード”にタップする



選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて








CategorySearchモードOFFのとき

 (スキャン)	再生中の曲があるプレイリスト内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (プレイリストスキャン)	Music Rack内の全プレイリストの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (プレイリストリピート)	再生中の曲があるプレイリストを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるプレイリスト内の曲を順不同に再生します。
 (プレイリストランダム)	Music Rack内の全プレイリストを順不同に選択し、プレイリスト内の曲を順番に再生します。
 (オールランダム)	Music Rack内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

アドバイス

- 全曲再生中(P195)の場合は、プレイリストスキャン、プレイリストリピート、プレイリストランダム、オールランダムの設定はできません。

CategorySearchモードONのとき

 Scan (アルバム内 スキャン)	Music Rack内の全アルバムの1 曲目を約10秒間ずつ再生します。
 Scan (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるカテゴリで 絞り込んだリスト内の曲を順不 同に再生します。
 (アルバムランダム)	再生中の曲があるカテゴリで 絞り込んだリスト内のすべての アルバムを順不同に再生します。 アルバム内の曲順は変わりません。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

アドバイス

- CategorySearchモードONのときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。
- ランダム、アルバムランダム再生を行うと、リストも並び替わります。
- アルバムスキャンは、1つのアルバムに絞り込んで再生しているときに使用できます。

カテゴリから探す

カテゴリ別に表示して曲を探すことができます。

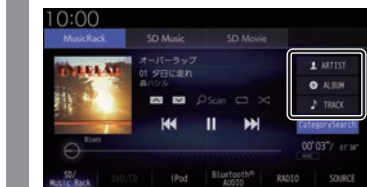
ここでは、Music Rackの再生情報画面 (CategorySearchモードOFF時)からの操作方法を説明します。

- 1 Music Rackの再生情報画面で **CategorySearch** にタップする
CategorySearchモードをONにします。

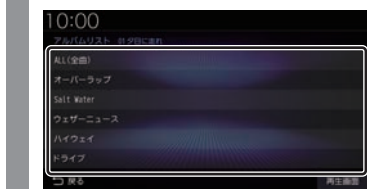
アドバイス

- CategorySearchモードをONにすると、カテゴリをトラックリストにしたときの先頭曲から再生を開始します。
- 再生モード(P198)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

- 2 いずれかの“カテゴリ”にタップする



- 3 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。手順3の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で **再生画面** にタップする



■ タイトル情報を取得する

通常は、音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得しますが、Music Rackに録音した後の再取得について説明します。

Music Rackからのタイトル情報の取得は、プレイリストの情報編集画面 (P193) またはトラックの情報編集画面 (P196) から行うことができます。

お知らせ

- ・タイトル情報について詳しくは「タイトル情報を取得する」(P159)をご覧ください。

■ 本機から取得する

本機に記録されているデータからタイトル情報を取得します。

1 各情報編集画面で **本機から取得** にタップする

タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタップする



→「タイトル候補の選択画面について」(P201)

■ 通信で取得する

インターナビ・データ通信USBを使ってタイトル情報を取得します。

お知らせ

- ・インターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careに会員登録および本機のセットアップが必要です。→「インターナビをご利用になる前に」(P299)

1 各情報編集画面で **通信で取得** にタップする

2 **取得する** にタップする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。
タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

3 いずれかにタップする



→「タイトル候補の選択画面について」(P201)

■ タイトル候補の選択画面について

アルバム名 / アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に表示します。タップすることでそのタイトル情報を適用します。
該当なし	現在のタイトル情報から変更を行いません。NoTitleリスト(P201)への登録も行いません。
NoTitleリストに登録	Music RackのNoTitleリストにこの音楽CDの情報を登録します。別の方法を使い、後でまとめてタイトル情報を取得できます。→「NoTitleリストを管理する」(P201)
通信で取得	インターナビ・データ通信USBを使ってタイトル情報を取得します。ただし、あらかじめインターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careに会員登録および本機のセットアップが必要です。→「インターナビをご利用になる前に」(P299)
トラック情報	トラック情報を確認できます。複数のアルバム情報がある場合は、[トラック情報]にタップ後、確認したいアルバム情報にタップしてください。

NoTitleリストを管理する

タイトル情報が取得できなかったアルバムをあらかじめNoTitleリストに登録しておく、さまざまな方法でタイトル情報を取得できます。ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P193)

1 プレイリスト選択画面で **NoTitleリスト** にタップする



NoTitleリストを表示します。

■ 本機からタイトル情報を取得する

本機の地図データ更新サービス (P314) を行ったときは、以下の方法でタイトル情報を取得できます。

ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

1 NoTitle リストで、タイトル情報を取得したい“アルバム”にタップする



タイトル情報の検索を開始します。
タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタップする



→「タイトル候補の選択画面について」
(P201)

■ 通信でタイトル情報を取得する

インターナビ・データ通信 USB を使って登録されている NoTitle リストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

お知らせ

- インターナビ・プレミアムクラブまたは Honda Total Care に会員登録および本機のセットアップが必要です。→「インターナビをご利用になる前に」(P299)

1 NoTitle リストで、 通信一括取得 にタップする

2 取得する にタップする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。



NoTitle リストの中でタイトル情報が取得できたアルバムを表示し、それぞれ適用します。

3 確認 にタップする

タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitle リストから消去されます。

1 件のみ通信で取得する場合

NoTitle リストから個別にタイトル情報を取得します。

1 NoTitle リストで、**通信で取得** にタップする

[通信で取得] ボタンが選択状態になります。

2 タイトル情報を取得したい“アルバム”にタップする



3 **取得する** にタップする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。

タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

4 いずれかにタップする



→「タイトル候補の選択画面について」(P201)

■ **パソコンからタイトル情報を取得する**
ご自宅のパソコンからインターネットを利用して登録されている NoTitle リストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

お知らせ

- あらかじめ専用ソフトをダウンロードし、ご自宅のパソコンにインストールしておく必要があります。詳しくは、弊社のホームページをご覧ください。

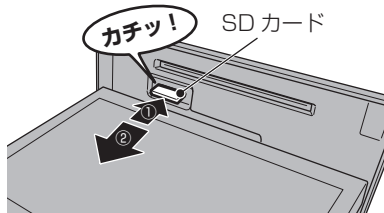
URL : <https://www.honda.co.jp/navi/support/>

1 NoTitle リストで、**PCで一括取得** にタップする

2 **SDカードに書き込む** にタップする

SDカードに NoTitle リスト情報を書き込みます。

3 本機から SD カードを取り出す



→「SDカードを取り出す」(P25)

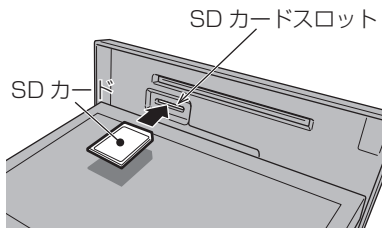
4 ご自宅のパソコンからタイトル情報を取得する

SDカードを本機から取り出し、ご自宅のパソコンにインストールした専用のソフトを使ってタイトル情報を取得します。

SDカードにタイトル情報が保存されます。

次のページにつづく

5 “タイトル情報”が保存されたSDカードを本機に挿入する



→「SDカードを挿入する」(P24)

6 NoTitleリストで、**PCで一括取得**にタップする

7 **SDカードから取り込む**にタップする



タイトル情報の取り込みを開始します。

NoTitleリストの中でタイトル情報が取得できたタイトルを表示し、各タイトルへ適用します。

8 **確認**にタップする

タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitleリストから消去されます。

■ NoTitleリストから消去する

NoTitleリストの登録を解除したいアルバムがあった場合、この機能を使ってNoTitleリストから消去できます。ここでは、NoTitleリストからの操作方法を説明します。

アドバイス

- この操作を行うことでMusic Rackから曲が消去されるわけではありません。

1 NoTitleリストで、**選択消去**にタップする

2 消去したいアルバムの“チェックボックス”にタップし、**選択する**



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての項目を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 **消去**にタップする

4 **消去する**にタップする

選択したすべてのアルバムをNoTitleリストから消去します。

Music Rack 内の曲をすべて消す

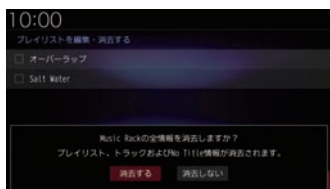
Music Rack (挿入中のSDカード) 内にあるすべての曲を消去します。

すべての曲を消去するには、プレイリスト選択画面 (P193) またはトラックリスト画面 (P195) から行うことができます。

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」
(P193)

- 1 プレイリスト選択画面で
編集・消去 にタップする
- 2 Music Rack 全消去
にタップする
- 3 消去する にタップする
- 4 再度、消去する にタップする

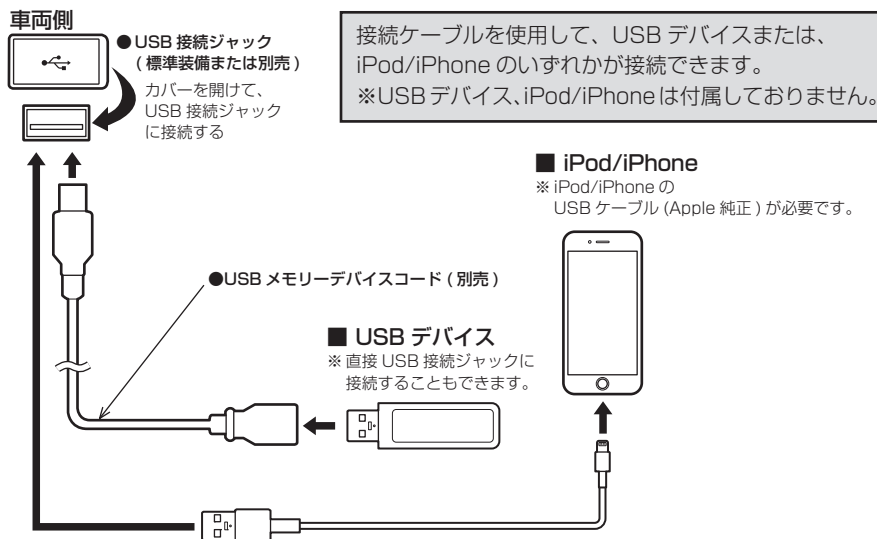


Music Rack内にあるすべての曲の消去が完了します。

iPod/USB メモリ

接続する

接続ケーブルと iPod/iPhone および USB デバイスの接続方法を説明します。



お知らせ

- USB 接続ジャックの形状や取り付け位置は、車両によって異なります。詳しくは、Honda 販売店にご確認ください。

注意

- USB 接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。内部に異物が入ったり、カバーが体に当たって破損したりするおそれがあります。
- Lightning コネクタタイプの iPod/iPhone に接続する場合は、Apple 純正の Lightning-USB ケーブル (0.5m 品) をご使用ください。
- iPod/iPhone の動画を再生する場合は HDMI (P244) へ接続してください。
- 各コネクタ方向に注意してください。コネクタ方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクタや iPod/iPhone 本体、USB デバイスの破損の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone 本体や Apple 純正の USB ケーブルを車内に放置しないでください。

■ iPodについて

- iPod/iPhoneの世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。(→P9) また、本書で説明する操作方法どおりに再生できない場合があります。最新の接続確認結果については、弊社のホームページをご覧ください。
- iPod/iPhoneを本機に接続した状態で操作してください。
- 正しく動作しないときは、iPod/iPhoneを本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone本体を車内に放置しないでください。
- 本機と接続して使用しているときにiPod/iPhoneのデータが消失しても、その補償はいたしかねます。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- シークバーなどはiPod/iPhoneとの通信状況により正しく表示されない場合がありますが、故障ではありません。

■ USBデバイスについて

- USBデバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- USBメモリーの推奨ファイルシステムは、exFATです。
- USBメモリーの対応容量は128GBまでを推奨します。なお、すべてのUSBメモリーに対して動作を保証するものではありません。
- 音楽ファイルが記録されたUSBデバイスを本機に接続した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

注意

- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、USBデバイスを車内に放置しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のエンジンスイッチを“OFF”にしてから取り外してください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- USBデバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

iPodを再生する

市販されている iPod 接続ケーブル、iPod を本機に接続することで、iPod の音声を本機で再生できます。

お知らせ

- 本書では、以降の説明で「iPod/iPhone」をまとめて「iPod」と記載していますが「iPod」に iPhone も含んでいます。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 **USB/iPod** にタップする 再生情報画面を表示します。

3 **⏮** または **⏭** にタップして 曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

アドバイス

- **⏮** または **⏭** にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

② ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。

③ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

④ ⏮, ⏪, ⏩, ⏭

トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑦ AUDIO ソースボタン

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップすると AUDIO メニューを表示します。
→ [AUDIO メニュー] (P33)

⑧ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑨ ARTIST

アーティストリストを表示します。

⑩ ALBUM

アルバムリストを表示します。

⑪ TRACK

トラックリストを表示します。

⑫ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→ [再生モードを変更する] (P210)

⑬ iPod MENU (→ P211)

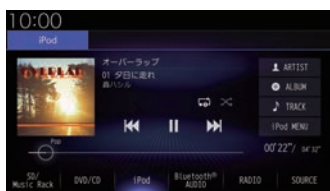
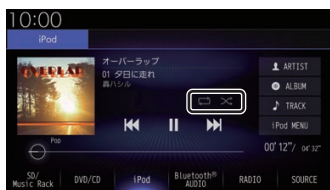
iPod メニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示できます。

⑭ 再生時間/曲の長さ

再生モードを変更する

リピート再生やシャッフル再生などの設定が行えます。ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

1 再生情報画面で変更したい“モード”にタップする



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス




- 同一の再生モードボタン(P209)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P210)になるまでタップしてください。
- 再生モードの内容について、詳しくは「再生モードについて」(P210)をご覧ください。

■ 再生モードについて




お知らせ

- iPodによって操作方法が異なります。

リピート

 (シングルリピート)	現在再生中の曲を繰り返して再生します。
 (オールリピート)	最終曲の再生が完了すると先頭曲から再生を開始します。
 ※1 (リピート解除)	リピート再生を解除します。リストの最終曲の再生完了後、再生を停止します。

シャッフル

 (シャッフル)	再生中の階層内にある曲を順不同に再生します。
 ※1 (アルバムシャッフル)	再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
 (シャッフル解除)	シャッフル再生を解除します。

※1 iPodによっては対応していない場合があります。

アドバイス

- シングルリピート再生中は、シャッフル再生やアルバムシャッフル再生を行ってもシングルリピート再生を継続します。

リストで探す

リストにタップしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲を探ることができます。

ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

お知らせ

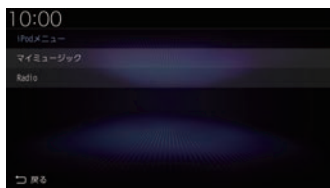
- iPodによって操作方法が異なります。

1 iPodの再生情報画面で

iPod MENU にタップする

手順2の画面が表示されない場合は、手順3へ進みます。

2 **マイミュージック** または **Radio** にタップする



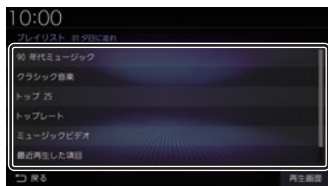
[Radio]にタップした場合は手順4へ進みます。

3 “カテゴリ” にタップする



選んだカテゴリのリストを表示します。

4 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。

手順4の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。

リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

アドバイス

- 手順3で選んだカテゴリによって、手順4で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、iPodに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で

再生画面 にタップする



USBデバイスの曲を聴く

市販されているUSBデバイスを本機に接続することで、USBメモリーなどのUSBデバイスに記録された音楽ファイルを本機で再生できます。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

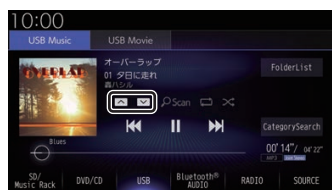
2 [USB/iPod] にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
音楽ファイルのみ記録されたUSBデバイスを接続していた場合は手順4へ進みます。

3 [USB Music] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

4 [↑] または [↓] にタップして フォルダーを選ぶ



5 [◀] または [▶] にタップして 曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

アドバイス

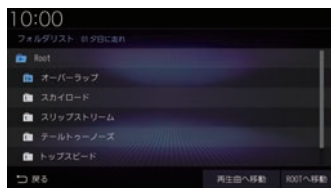
- [◀] または [▶] にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

リストを表示する

CategorySearchモード (P213) がOFFのとき、フォルダーの階層を確認しながら曲を探すことができます。

ここでは、USBデバイスの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 USBデバイスの再生情報画面で [FolderList] にタップする



リストを表示します。

2 [戻る] にタップする

USBデバイスの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOTへ移動] にタップすると、Rootフォルダーへ移動します。
 - CategorySearchモードがONのとき、[FolderList] ボタンは非表示になります。[CategorySearch] にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。
- このとき、再生モード (P215) を設定している場合は、再生モードは解除されます。

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。

② **USB Movie** (→P218)

USBデバイスの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。

③ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*1 *2

④ **▲**, **▼**

フォルダーを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。*2

⑥ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑦ **AUDIO ソースボタン** (→P33)

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。

⑧ **FolderList** (→P214)

フォルダーリストを表示します。

⑨ **トラック番号/曲名**

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑩ **アーティスト名**

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。*2

⑪ **再生モードボタン** (→P215)

各ボタンにタップして再生モードを変更します。

⑫ **CategorySearch** (→P216)

CategorySearchモードをON/OFFに切り換えます。

⑬ **◀**, **||**, **▶**, **▶▶**

ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。**◀▶** または **▶▶▶** にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑭ **再生時間/曲の長さ**⑮ **チャンネルモード**

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

- Stereo** : ステレオ
- Joint Stereo** : ジョイントステレオ
- DualChannel** : デュアルチャンネル
- Monaural** : モノラル

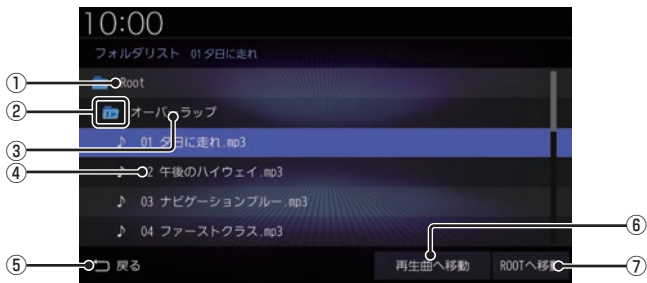
⑯ **ファイル形式**

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

*1 ジャケット写真を表示する場合は、あらかじめ音楽データのタイトル情報にジャケット写真を設定しておく必要があります。画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて

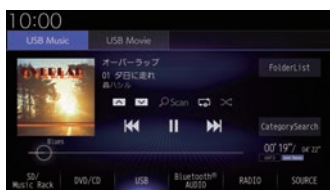
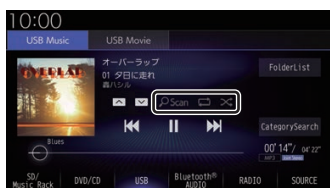


- ① **Root**
階層の最上位を示します。
- ② **階層番号**
フォルダーの階層位置を示します。
- ③ **フォルダー名**
タップすると、フォルダーを展開します。
- ④ **ファイル名**
タップすると、曲の再生を開始します。
- ⑤ **戻る**
USBデバイスの再生情報画面に戻ります。
- ⑥ **再生曲へ移動**
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。
- ⑦ **ROOTへ移動**
Root フォルダーへ移動します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 USBデバイスの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする









選んだモードの再生を開始します。

アドバイス








- 同一の再生モードボタン(P213)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P215)になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

CategorySearch モードOFF のとき

 Scan (スキャン)	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 Scan (フォルダスキャン)	USBデバイス内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 Scan (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (フォルダリピート)	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
 (オールランダム)	USBデバイス内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

CategorySearch モードON のとき

 Scan (アルバム内スキャン)	USBデバイス内の全アルバムの1曲目を約10秒間ずつ再生します。
 Scan (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内の曲を順不同に再生します。
 (アルバムランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内のすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

次のページにつづく

アドバイス

- CategorySearchモードONのときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。
- ランダム、アルバムランダム再生を行うと、リストも並び替わります。
- アルバムスキャンは、1つのアルバムに絞り込んで再生しているときに使用できます。

カテゴリーから探す

カテゴリー別にリストを表示して曲を探すことができます。

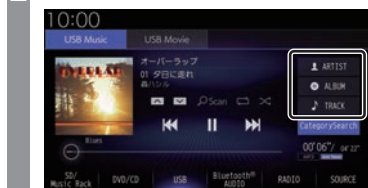
ここでは、USBデバイスの再生情報画面(CategorySearchモードOFF時)からの操作方法を説明します。

- 1 USBデバイスの再生情報画面で **CategorySearch** にタップするとCategorySearchモードをONにします。

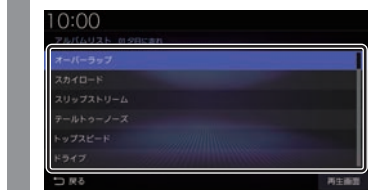
アドバイス

- CategorySearchモードをONにすると、カテゴリーをトラックリストにしたときの先頭曲から再生を開始します。
- 再生モード(P215)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

- 2 いずれかの“カテゴリー”にタップする



- 3 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。手順3の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

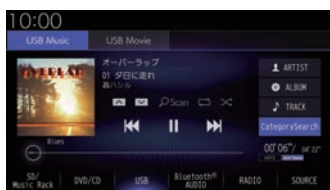
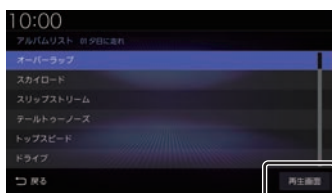
アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で **再生画面** に タップする



USBデバイスの動画を見る

市販されているUSBデバイスを本機に接続することで、USBメモリーなどのUSBデバイスに記録された動画ファイルを本機で再生できます。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 [USB/iPod] にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
動画ファイルのみ記録されたUSBデバイスを接続していた場合は、手順4へ進みます。

3 [USB Movie] にタップする

動画ファイルの再生画面を表示します。

4 [< TRACK >] にタップして再生する動画を選ぶ

選んだ動画の再生を開始します。

アドバイス

- [< TRACK >] にロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。約5秒以上ロングタップすると、ボタンから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 [< TRACK >] にタップします。

リストを表示する

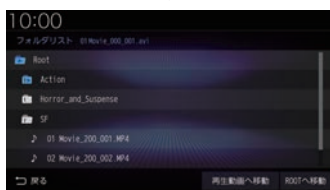
フォルダーの階層を確認しながら動画を探すことができます。

ここでは、動画ファイルの再生画面からの操作方法を説明します。

1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

2 [FolderList] にタップする



リストを表示します。

詳しくは、「リストについて」(P214)を参考にご覧ください。

3 [戻る] にタップする

動画ファイルの操作画面に戻ります。

表示内容について

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在の状態を表示します。
詳しくは、「ソースプレートについて」
(P185) を参考にご覧ください。

② FolderList

フォルダーリストを表示します。
詳しくは、「リストについて」(P214) を参
考にご覧ください。

③ USB Music

再生情報画面を USB デバイスの音楽ファ
イルに切り換え、再生を開始します。
詳しくは、「USB デバイスの曲を聴く」
(P212) を参考にご覧ください。

④ シークバー

シークバーをタップまたはスライドするこ
とで、再生位置を指定できます。

⑤ < Folder >

前後のフォルダーを選ぶときに使用しま
す。選んだフォルダーの先頭ファイルの再
生を開始します。

⑥ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通
常の再生に戻ります。

⑦ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑧ スロー

タップするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] . . .
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑨ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更しま
す。詳しくは、「再生モードを変更する」
(P186) を参考にご覧ください。

⑩ < TRACK >

前後のファイルを選ぶときに使用しま
す。ロングタップ (P28) すると早送り、早戻し
ができます。

テレビ機能について

本機では、地上デジタルTVチューナーを使った地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

注意

- テレビの映像は安全のため走行中は表示されません。(リア席モニターには表示されます)
- テレビをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。
- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなる場合があります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- データ放送は対応していません。
- PPV番組(有料番組)は対応していません。
- TV視聴中に表示される時計表示は、地上デジタルTVチューナーが放送波で受信した時刻を表示しています。ナビ画面で表示している時刻(P48)や車両装備の時刻と異なる場合があります。

テレビを見る

地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

はじめてテレビを見るとき

(ホームCHスキャン)

はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの“リモコン番号”に登録する操作です。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 TV にタップする

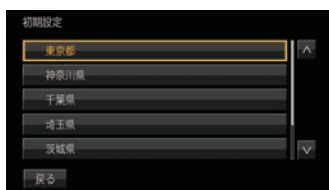
3 居住地域 にタップする



4 設定したい“地方” にタップする



5 設定したい“都道府県” にタップする



6 スキャン開始 にタップする



ホームCHスキャンを開始します。

お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に[中止]にタップすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホームCHへ登録される放送局が少なくなる場合があります。

7 完了 にタップする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

お知らせ

- ホームCHには最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタップした場合はホームCHに登録されません。

放送局を選ぶ

初期設定のスクリーンで登録した放送局を選びます。

お知らせ

- 初期設定をした後に、はじめて選んだ放送局は、映像表示するまでにしばらく時間がかかります。
2回目以降は表示に時間はかかりません。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 見たい放送局の“リモコン番号”にタップする



プリセットボタン

選んだ放送局の番組を表示します。

アドバイス

- “プリセットch”の[◀]または[▶]にタップすると、登録した放送局をリモコン番号の順、または逆順に選局できます。
- “プリセットch”の[◀]または[▶]にロングタップ(P28)すると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。
→「受信状態の良い放送局を探す」(P229)

表示内容について

画面をタップして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて



① ノーマルバーナー

受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。

🏠 マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。

🏠 : ホームCH

1 : ドライブCH

11 : エリアCH

(画面のリモコン番号は「1」)

② CHモード

ホーム にタップすると、ホームCHスキャン (P230) で登録した放送局を選べます。

ドライブ にタップすると、ドライブCHスキャン (P231) で登録した放送局を選べます。

エリア にタップすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号 (→P222,235)

タップすると、登録された放送局を表示します。ロングタップ (P28) することで“リモコン番号”の割り当てを変更できます。放送局のロゴマークは、各放送局を一定時間受信すると表示します。

④ 閉じる

操作パネルを消しテレビ映像のみにします。

⑤ **メニュー** (→P233,237,364,367)

各種設定を行います。

⑥ **EPG** (→P227)

電子番組表 (EPG) を表示します。

⑦ **番組内容** (→P226)

現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ **ワンセグ/フルセグ** (→P235)

フルセグとワンセグを切り換えます。ロングタップ (P28) することで、自動ワンセグ切り換え (P236) の設定ができます。

⑨ **系列局** (→P229)

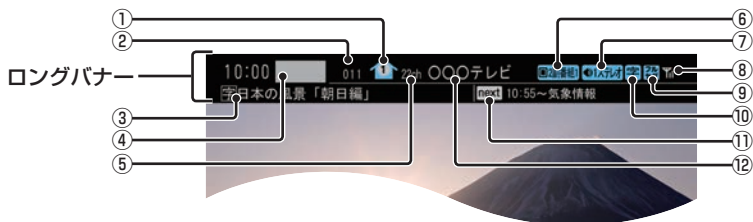
系列局の放送局を表示します。ロングタップ (P28) することで系列局サーチを開始します。

⑩ **<プリセットch>**

登録した放送局をリモコン番号順または逆順に選局できます。

■ ロングバナーについて

チャンネルリスト (P228) から選局した後などに表示するロングバナーについて説明します。ノーマルバナー (P223) よりも詳しい情報を表示します。



① マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。

- : ホームCH
- : ドライブCH
- : エリアCH

(画面のリモコン番号は「1」)

② **3桁チャンネル番号**

複数の番組が放送されているとき、それぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号を表示します。フルセグでは011番から、ワンセグでは611番から始まります。

③ **番組名**

現在放送中の番組名を表示します。

④ **ロゴマーク**

放送局のロゴマークまたは放送局名(省略名)を表示します。
ロゴマークは、フルセグで一定時間受信すると表示します。

⑤ **物理チャンネル番号**

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号(13ch～52chまで)です。

⑥ **映像情報** (→P237)

複数の映像があるときに表示します。

⑦ **音声モード**

放送中の音声モードを表示します。

- : ステレオ
- : モノラル
- : サラウンド

※ サラウンド音声は、本機ではステレオ2chで出力します。

⑧ **受信強度**

受信中の放送局の受信強度を表示します。

⑨ **放送モード** (→P235)

フルセグを見ているときは 、ワンセグを見ているときは を表示します。
放送モードは切り換えることができます。

⑩ **字幕情報**

字幕放送中の番組で表示します。
「視聴設定」の[字幕/音声]で切り換えることができます。
→「TVの設定」(P364)

⑪ **次の番組名**

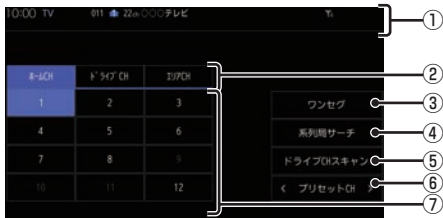
次に放送される番組名を表示します。

⑫ **放送局名**

放送局名を表示します。

■ 走行中の操作制限について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。



① ソースプレート

現在選ばれている受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② CHモード

ホームCH にタップすると、ホームCHスキャン(P230)で登録した放送局を選べます。

ドライブCH にタップすると、ドライブCHスキャン(P231)で登録した放送局を選べます。

エリアCH にタップすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ ワンセグ/フルセグ (→P235)

フルセグとワンセグを切り換えます。

④ 系列局サーチ (→P229)

系列局サーチを開始します。再度、タップすると中止します。

⑤ ドライブCHスキャン (→P231)

タップすると、ドライブCHスキャンを行うことができます。

⑥ <プリセットCH>

登録した放送局をリモコン番号順または逆順に選局できます。

⑦ リモコン番号 (→P222,235)

タップすると、登録された放送局を選局します。映像は表示されません。

お知らせ

- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。
- 走行中はホームCHスキャンを行うことができません。

■ CHモードを切り換える

ホームCH、ドライブCH、エリアCHを切り換えます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 切り換えたい“CHモード”にタップする

ホームCH



ドライブCH



CHモードが切り換わります。

CHモードについて

ホーム	お住まいの地域(長期的に滞在する地域)の放送局を登録しています。あらかじめ「ホームCHスキャン」を行う必要があります。 →「はじめてテレビを見るとき」(P221)
ドライブ	旅行先など(一時的に滞在する地域)で放送局を登録しています。あらかじめ「ドライブCHスキャン」を行う必要があります。 →「ドライブCHスキャンを行う」(P231)
エリア	位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

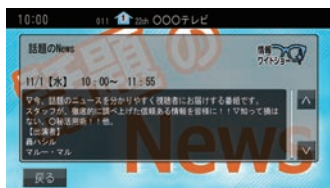
番組の内容を見る

現在選局中の番組の内容を表示します。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 番組内容 にタップする



選局中の番組の内容を表示します。

アドバイス

- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。
- [戻る]にタップすることで閉じることができます。

■ 記号について














番組内容の画面では記号で番組情報を示しています。

番組属性例

MV	マルチ番組
二	二重音声
サ	サラウンド ※ サラウンド音声は、本機ではステレオ2chで出力します。
字	字幕あり

ジャンル

以下のマークを表示します。

ニュース 報道 	スポーツ 
情報 ワイドショー 	ドラマ 
音楽 	バラエティ 
映画 	アニメ 特撮 
ドキュメンタリー 教養 	劇場 公演 
趣味 教育 	福祉 
その他 	

緊急警報放送について

「緊急放送自動切換」を[ON]に設定しておくと、緊急警報放送を受信した場合、自動で緊急警報放送へ切り換わります。

→「緊急放送」(P366)

お知らせ

- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- 「緊急放送自動切換」が[ON]の場合、AUDIOソースがTV以外のときに、緊急警報放送を受信すると自動的に緊急警報放送に切り換わります。

注意

- 緊急警報放送を受信しても、テレビの映像は安全のため走行中は表示されません。テレビをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。

放送局を探す

いろいろな方法で放送局・番組を探します。

番組表で探す

電子番組表 (EPG) を表示し、見たい番組を探すことができます。

■ 現在放送中の番組から探す

現在放送中の番組をリストで確認できます。

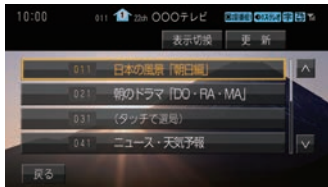
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 [EPG] にタップする

現在放送中の番組のリストを表示します。

3 見たい“番組”にタップする



選択した番組の放送局を選局します。

アドバイス

- 本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示するため、すべて表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- [戻る]にタップすることで番組表を閉じることができます。

■ 番組表を取得するには番組表を手動で取得できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 [EPG] にタップする

3 [更新] にタップする

番組表の取得を開始します。

アドバイス

- 番組データをすべて取得するにはしばらく時間がかかります。
- 取得中に再度[更新中止]にタップすると更新を中止します。

■ 番組表の内容を確認する

ワンセグ放送は現在放送中の10番組分、フルセグ放送は8日分の番組内容を確認できます。

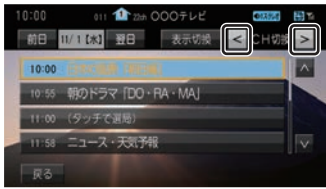
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

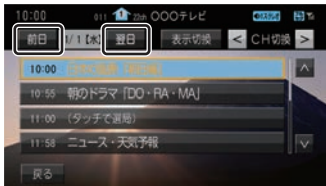
2 EPG にタップする

3 表示切換 にタップする

4 “CH切換”の<>、<>にタップし、見たい“放送局”を選ぶ



5 前日 または 翌日 にタップして見たい“日付”を選ぶ



6 見たい“番組”にタップする



番組の詳細な内容を表示します。

アドバイス

- データ取得中は空欄になります。
- 通常番組データは視聴中の放送局からしか取得できません。本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示しますので、すべて表示するまでしばらくかかることがあります。

チャンネルリストから探す

ホームCHスキャン (P230) やドライブCHスキャン (P231)、エリアCH (P225) で登録した放送局のリストを表示してリモコン番号の確認や選局が行えます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

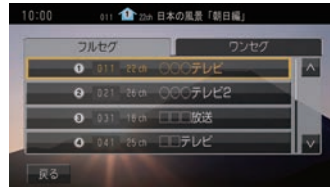
2 メニュー にタップする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → CH一覧 にタップする

現在見ているホームCHまたはドライブCHの一覧を表示します。

4 フルセグ または ワンセグ にタップする



5 見たい“放送局”にタップする

選択した放送局を選局します。

系列局を探す

移動中に受信ができなくなったとき、同じ系列局の放送局に切り換えて、引き続き見ることができます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 [系列局] にタップする



系列局の放送局に切り換わります。

アドバイス

- [系列局]にロングタップ (P28) すると系列局サーチを開始します。系列局が見つかると切り換わります。中止する場合は[中止]にタップします。また、受信状態によりしばらく時間がかかる場合があります。
- 系列局がない場合や、サーチを行っても見つからない場合があります。また、系列局があった場合でも放送局の都合により同じ番組にならないことがあります。
- 現在見ている番組の放送局がチャンネルリストにない場合は切り換わりません。

受信状態の良い放送局を探す

現在受信可能な放送局を探します。

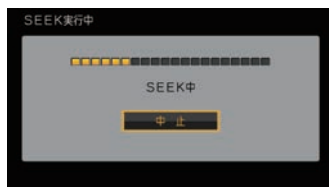
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ホーム] にタップする

3 “プリセットch”の<> または

→「操作のしかた」(P28)



シークを開始し、受信できる放送局が見つかり则表示します。

アドバイス

- 放送局が見つかるまでシークを行います。中止する場合は[中止]にタップします。
- 電波状況によってはシークを行っても放送局が見つからない場合があります。

好みの放送局を登録する

受信可能な放送局を探し、ホームCHやドライブCHに放送局を登録します。

ホームCHスキャンを行う

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときや新しい放送局が開局されたときなどに行います。

■ 初期ホームCHスキャン

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときなどに行います。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

3 **初期設定** → **CHスキャン** にタップする

4 **初期ホームCHスキャン** にタップする

5 **居住地域** にタップする

6 “地方” にタップする



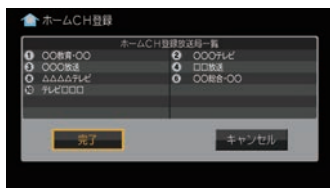
7 “都道府県” にタップする

8 **スキャン開始** にタップする



初期ホームCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

9 **完了** にタップする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- ・ホームCHには最大12局まで登録できます。
- ・[キャンセル]にタップした場合はホームCHに登録されません。

■ 再ホームCHスキャン

新しい放送局が開局されたときなどに行います。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

3 **初期設定** → **CHスキャン** にタップする

4 **再ホームCHスキャン** にタップする

5 **スキャン開始** にタップする



再ホームCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

6 **表示された内容を確認し、次へ** にタップする

以降の操作は、「初期ホームCHスキャン」(P230)の手順9以降と同じです。

ドライブCHスキャンを行う

旅行先など（一時的に滞在する地域）で受信可能な放送局を探し、ドライブCHのリモコン番号に登録します。

■ 初期ドライブCHスキャン

現在のドライブCHを消して、新たにドライブCHに登録しなおします。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **ドライブ** にタップする

ドライブCHに切り換えます。

3 **メニュー** にタップする

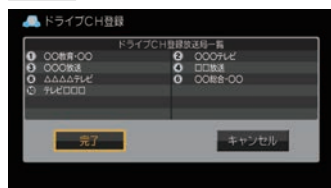
4 **初期設定** → **CHスキャン** にタップする

5 **初期ドライブCHスキャン** にタップする



初期ドライブCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

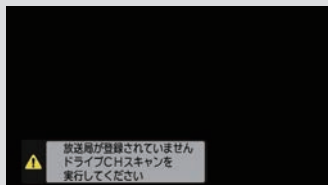
6 **完了** にタップする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- はじめてドライブCHスキャンを行う場合は、以下の画面を表示します。この画面のときに、画面をタップして手順3から操作してください。



- ドライブCHは最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタップした場合はドライブCHに登録されません。

■ 再ドライブCHスキャン

初期ドライブCHスキャンで登録したチャンネルを消さずに新たに受信できる放送局があったとき追加で登録をします。

アドバイス

- 再ドライブCHスキャンで登録する放送局の合計が13局以上になったときは、追加できない放送局があります。その場合は初期ドライブCHスキャンを行ってください。
→「初期ドライブCHスキャン」(P231)

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

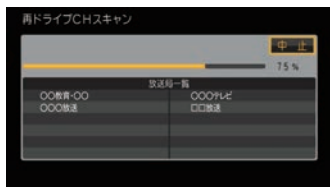
2 **ドライブ** にタップする

ドライブCHに切り換えます。

3 **メニュー** にタップする

4 **初期設定** → **CHスキャン** にタップする

5 **再ドライブCHスキャン** にタップする



再ドライブCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

6 表示された内容を確認し、**次へ** にタップする

以降の操作は、「初期ドライブCHスキャン」(P231)の手順6以降と同じです。

情報を確認する

本機に関する各種情報を確認することができます。

メールを確認する

放送局から送られる放送メールや本機からお知らせする内部メールを確認できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

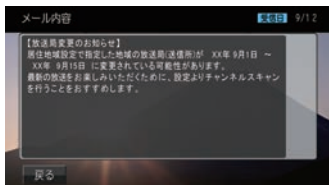
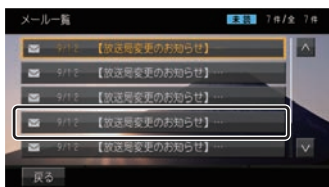
設定メニューを表示します。

3 **情報確認** → **メール** にタップする



メール一覧を表示します。

4 読みたい“メール”にタップする



選んだメールの内容を表示します。

アドバイス

- [戻る]にタップするとメール一覧に戻ります。
- メール の保存件数は放送メールと内部メールで、各7通ずつです。それぞれ7通を超えた場合、既読メールの受信日が古いものから削除されます。すべて未読だった場合でも受信日が古いものから削除されます。

デバイスIDを確認する

受信機のメーカーIDや放送局ごとに管理されているメーカーIDを確認できます。

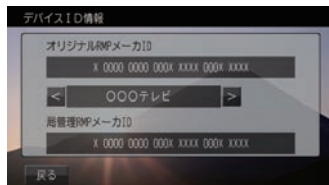
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

設定メニューを表示します。

3 **情報確認** → **デバイスID** にタップする



デバイスIDの情報を表示します。

アドバイス

- **<** または **>** にタップして、放送局を切り換えると、各放送局のメーカーIDを確認できます。

ソフトウェアバージョンを確認する

本機のソフトウェアバージョンを確認できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

設定メニューを表示します。

3 **情報確認** → **S/Wバージョン** に タップする



本機のソフトウェアバージョンを表示します。

アドバイス

- 地図を更新するとソフトウェアバージョンも変更になる場合があります。

その他の操作

リモコン番号を変更する

登録しているリモコン番号 (P384) を変更できます。

- 1 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。
- 2 変更したい“リモコン番号”
にタップする
- 3 変更先の“リモコン番号”
にロングタップする



変更先のリモコン番号への登録が完了します。

お知らせ

- 同じ放送局を複数の“リモコン番号”には登録できません。変更前のリモコン番号は登録が解除されます。
- エリアCH表示時はリモコン番号の変更はできません。

フルセグとワンセグを切り換える

フルセグとワンセグの切り換えについて説明します。

- 1 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。
- 2 [ワンセグ/フルセグ] にタップする
フルセグ



ワンセグ



[ワンセグ/フルセグ]をタップするたびにフルセグ→ワンセグ→フルセグと切り換わります。

■ 自動ワンセグ切り換えについて

フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定を変更します。

アドバイス

- 工場出荷時、フルセグを優先的に視聴する設定になっています。ワンセグ優先にしたい場合や、手動切り換えのみの設定にしたい場合にこの設定を行います。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ワンセグ/フルセグ]にロングタップする

→「操作のしかた」(P28)



[ワンセグ/フルセグ]にロングタップするたびに「ON (フルセグ視聴優先)」→「ON (ワンセグ視聴優先)」→「OFF」と切り換わります。

ON (フルセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が著しく悪くなったときに自動でワンセグに切り換えます。可能な限り高画質な状態で視聴したい方にお勧めします。
ON (ワンセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が少しでも悪くなると自動でワンセグに切り換えます。安定した受信状態で視聴したい方にお勧めします。
OFF	自動切り換えを行いません。 [ワンセグ/フルセグ]にタップする操作でのみ切り換えます。

アドバイス

- 「受信機設定」の[自動選局]でも設定を変更できます。
→「TVの設定」(P364)
- 地上デジタルTV放送では、1つの放送局が複数の番組を送信することが可能です。また一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自サービスを行っています。

このような場合、自動ワンセグ切換をON (フルセグ視聴優先/ワンセグ視聴優先) に設定していると、ワンセグに切り換わったとき、番組内容が異なることがあります。同じ番組を続けて見たい場合は、自動ワンセグ切換をOFFに設定してお使いください。

映像や音声を切り換える

現在見ている番組で、複数の映像や音声の情報があるときに切り換えることができます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

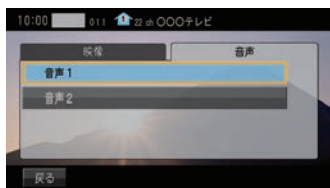
設定メニューを表示します。

3 **視聴設定** → **信号切換** に タップする

4 **映像** または **音声** にタップする



5 切り換えたい“情報”にタップする



▼
選択した情報の設定に切り換わります。

映像について

1つのチャンネルでアングルの違う映像などが複数あるときに切り換えることができます。

音声について

1つのチャンネルで同時に「主音声」、「副音声」に分けた2種類の言語を放送しているとき(二ヶ国語放送)に切り換えることができます。また、二重音声放送の場合は、[視聴設定]→[字幕/音声]の「二重音声設定」で切り換えることができます。

→「TVの設定」(P364)

外部入力機器

Bluetooth Audioを使う

本機では、市販されているBluetooth対応オーディオ機器の曲を再生できます。

お知らせ

- Bluetooth対応オーディオ機器の種類、携帯電話または音楽再生アプリによっては、ご利用いただけない場合やご利用いただける機能に制限がある場合、カタログスペックどおりに動作しない場合があります。
- 市販されているBluetooth対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。
- Bluetooth対応オーディオ機器を本機に接続している状態で、別機器のBluetooth接続によるデータ通信機能を使用すると通信中に音飛びすることがありますが、故障ではありません。
- Bluetooth対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になるおそれがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。
→「音量を調節する」(P22)
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- 走行中、Bluetooth機器の変更はできません。

■ 対応プロファイルと対応機能について 各プロファイルの対応機能について説明します。

機能	A2DP
再生中の音声出力	○

※ サンプリングレート：16kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

機能	AVRCP		
	v1.0	v1.3	v1.4以上
再生/一時停止の操作	○	○	○
停止	×	×	×
早送り/早戻しの操作	○	○	○
トラックの選択操作	○	○	○
アルバムの選択操作	×	○	○
リピート/ランダム/ スキャン再生の操作	×	○	○
再生状態の表示	×	○	○
アルバムリストの表示	×	×	○
アルバムリストからの選曲	×	×	○

Bluetooth対応オーディオ機器を接続する

本機とBluetooth対応オーディオ機器は、Bluetooth機能を使用して接続します。接続のしかたについては「Bluetoothの設定」(P338)をご覧ください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

Bluetooth対応オーディオ機器の曲を聴く

- 1 AUDIOメニューを表示する
(→P136)
- 2 **BTA** にタップする
Bluetooth Audioの再生情報画面を表示します。
- 3 **⏮** または **⏭** にタップして曲を選ぶ



アドバイス

- **⏮** または **⏭** にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- **⏮** または **⏭** にタップしてアルバムを選ぶことができます。
(AVRCPがv1.3、v1.4以上のとき)

■ 再生情報画面について



① Bluetooth 接続アイコン

② アルバム名*

アルバム情報がなければ「No Title」と表示します。

③ アーティスト名*

アーティスト情報がなければ「No Name」と表示します。

④ ▲, ▼*

アルバムを選ぶときに使用します。タップすると、前後のアルバムへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ ジャンル名*

⑥ AUDIO ソースボタン

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップすると AUDIO メニューを表示します。
→「AUDIO メニュー」(P33)

⑦ デバイス名*

接続中の機器のデバイス名を表示します。情報がなければ「No Name」と表示します。

⑧ MusicSearch

さまざまなカテゴリーから曲を選ぶことができます。

⑨ トラック名*

トラック情報がなければ「No Title」と表示します。

⑩ 再生モードボタン*

各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P241)

⑪ ⏮, ▶/||, ⏭

トラックの選択や再生/一時停止が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑫ 接続設定

Bluetooth 接続設定画面を表示します。
→「Bluetooth の設定」(P338)

⑬ 再生時間*

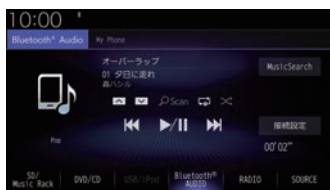
* お使いの Bluetooth 機器が対応していない場合や、情報取得できないときは表示しません。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

※ AVRCP が v1.0 のときはこの機能をご利用になれません。
この操作は、Bluetooth Audio の再生情報画面 (P240) から行えます。

1 Bluetooth Audio の再生情報画面で変更したい“モード”にタップする













選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン (P240) をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときには、モード解除を示すアイコン (P241) になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

 (スキャン)	再生中の曲があるアルバム内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
 (グループスキャン)	Bluetooth 対応オーディオ機器内の全グループの 1 曲目を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	各スキャン再生を解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (グループリピート) ※ 1	再生中の曲があるグループを繰り返して再生します。
 (オールリピート)	Bluetooth 対応オーディオ機器内にあるすべての曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	各リピート再生を解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるアルバム内の曲を順不同に再生します。
 (グループランダム)	Bluetooth 対応オーディオ機器内にある全グループを順不同に選択し、グループ内の曲を順番に再生します。
 (ランダム解除)	各ランダム再生を解除します。

※ AVRCP が v1.3 以上の場合のみこの機能をご利用できます。

アドバイス

- お使いの Bluetooth 機器が対応していない場合や、情報が取得できない再生モードは表示しません。
- リピート、グループリピート、オールリピート再生中は、ランダムやグループランダム再生を行ってもリピート再生は継続されます。

リストで探す

リストにタップしていくことで、フォルダー名やファイル名を確認しながら聴きたい曲を探すことができます。

ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

※ AVRCPがv1.0、v1.3またはリスト表示非対応の機器では、この機能をご利用になれません。

1 Bluetooth Audioの再生情報画面で **MusicSearch** にタップする

リストを表示します。

2 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。

手順2の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。

リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

AUX を使う

別売のAUX 接続コードおよびAUX 機器を本機に接続することで、音声を本機に入力し、再生できます。

注意

- 映像入力には対応していません。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- AUX 機器に接続されている充電用ケーブル (USB ケーブルなど) や外部入出力ケーブルを抜き挿しするときはAudio OFF にしてから行ってください。AUX 機器再生中の場合、異音が発生することがあります。

アドバイス

- AUX 機器の接続方法については、Honda 販売店にご確認ください。

音声を再生するには

1 AUDIO メニューを表示する
(→P136)

2 **AUX** にタップする



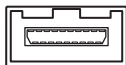
AUX 機器の音声が流れます。

HDMIの映像を見る

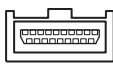
HDMI 接続ジャック (標準装備 / 別売) または別売の HDMI 接続コードに HDMI 出力機器を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生できます。

HDMI (E タイプ) とは

本機側



ケーブル側



HDMI の車載用タイプコネクター。

本機は、HDMI の E タイプコネクターのため、家庭用で販売されている HDMI ケーブルと接続できません。別売の HDMI 接続コードをお買い求めください。

車両によっては、HDMI 接続コードの代わりに標準装備または別売の HDMI 接続ジャックに接続する場合があります。HDMI 接続ジャックの取付位置は、車両によって異なります。詳しくは、Honda 販売店にご確認ください。

お知らせ

- 対応する画像方式は 480p または 720p のみです。
- HDMI 出力機器の映像を外部出力には出力できません。
- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。

注意

- HDMI 出力機器の映像をご覧になるときは、安全な場所に停車してください。

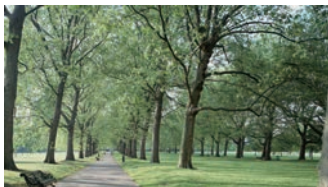
アドバイス

- お手持ちの iPod/iPhone を HDMI 変換ケーブルに接続することで映像をご覧になることができます。別途 Apple 純正の変換ケーブルが必要です。
- HDMI 出力機器の接続方法については、Honda 販売店にご確認ください。

表示するには

1 AUDIO メニューを表示する
(→P136)

2 **HDMI** にタップする



HDMI 出力機器の映像を表示します。

お知らせ

- 接続した HDMI 出力機器の操作方法については、各機器付属の取扱説明書をご覧ください。